

放送メモ②・ドキュメンタリー番組（テレビ）（2020年3月下旬～21年2月）

3月29日（日）4:30～、30分、テレビ朝日

テレメンタリー2020「マタギの里の光 ～秘境に生きる6年生～」

長野県最北端の栄村・秋山郷。小学6年の福原弥夢（ひろむ）は秋山分校唯一の児童。弥夢が卒業すると分校は休校になる。父・和人（かずひと）さんはマタギの伝統を受け継ぐ。父の後を追う・弥夢成長を通して限界集落の実現と未来を考える。ナレ：宮崎あおい、P：飯島崇志、D：山崎勇平、制作：長野朝日放送

3月29日（日）5:00～、60分、NHKEテレ

心の時代～宗教と人生～「レンズで見つめた生と死の時 写真家 江成常夫」

出演：江成常夫（1936年10月生まれ、鈴木健次（NHKディレクター）、語り：守本奈美、P：浅井靖子、D：鎌倉英也、制作統括：諫山法子、△60年安保・大学2年（東京経済大学）。土門拳「歴史を見ること。庭先の野草を見つめること。」「技術はいつでも覚えらるる。」自宅のある相模原が開発されて行く。△62年毎日新聞写真部入社。高度成長の結果、公害。70年・多摩川の源流から下流へ。△74年4月退社、ニューヨークへ。写真とは何かを考える。△『花嫁のアメリカ』戦争花嫁と文字起こしのインタビュー（フォト・ノンフィクション）、20年後に再会して続編『花嫁のアメリカ歳月の風景』。△戦争孤児（中国）、1984年『シャオハイの満州』『まぼろしの国・満州』△98年、右脇下に悪性腫瘍。ステージ4。ウツになる。00年手術。その時に撮影し6年後『生と死の時』△ガダルカナルと沖縄のがま『鬼哭の島』国家の不条理と、昭和の戦争は終わっていない。△19年『After the TSUNAMI 東日本大震災』2011年5月～18年、岩手・宮城・福島を撮影。△右手が動かない苦痛、限られた時間をどう過ごすのか…。～早朝の放送では、勿体ない！～

4月5日（日）25:00～、30分、

NNNドキュメント20「私の声はバイオリン 太平まゆみ 音楽の力を信じて」 P：水谷潤子、D：山内康次、制作著作：STV（札幌テレビ放送）

21年間札幌交響楽団でコンサートマスターを務める。18歳で死んだALS（筋萎縮性側索硬化症）の子供との交流を描く。

4月12日（日）4:30～、30分、テレビ朝日

テレメンタリー2020「歌舞伎町最後のキャバレー」 カメラ：佐藤俊輔、写真：梁丞佑、制作協力：TSP、CP：車卓夫、P：須田光樹、D：石石大輔、

1968年オープンした楓林会館6Fのキャバレーが2月18日に閉店する。ホステス80人。吉田康博支配人（82）20歳で夜の世界へ。No.1ホステス・志麻（72）。ダンサー・ナツキ（40）20年踊る。厨房・中村英男（64）。支配人「キャバレーは最大の恋人」…昭和が終わる。

4月12日（日）24:55～、30分、日本テレビ

NNNドキュメント20「はたの光 私の逆転シュート」

兵庫県三田市・神戸医療福祉専門学校三田校、多発性硬化症の4年生・立岡はたの（22）は3月で卒業し岡山で就職する。△16才、脳・脊髄で発病。入学して4年間、一人暮らし。紙おむつ。高3で車椅子バスケのチームに入る。U-25の世界選手権・タイ遠征。△朝、起きるときに不安…。「笑顔で明るく前向きに」。ナレ：伊藤健太郎、撮影：澤田一宏、D：松岡光子、P：河野信一郎、制作著作：日本海テレビ、～ヒロインのキャラが良い！ 秀作、取材を続けてください！～

4月5日（日）25:45～、30分、TBS

JNNドキュメンタリー ザ・フォーカス「声なき声 ～場面緘黙症の女性たち～」

△『場面緘黙症』…家ではしゃべるのに、学校や職場など特定の場面で声が出なくなる不安障害の一つ。△小1の時、同級生にからかわれて…。1年半後、特定の場面で不安定になる。19才の女性「今はスマホに文字を打ち込んで会話」△小学生500人で1人。長野大学・高木ジュンヤ教授。△克服した女性。△12才病気を闘いながらパティシエの活動。△番組のDの娘も発症。 D：若尾貴史、P：大園康志、制作著作：CBCテレビ

4月5日（日）9:00～、60分、NHKEテレ

日曜美術館「法隆寺の至宝 金堂壁画をよみがえらせた人々」

△法隆寺・金堂の世界に比類のない『仏教壁画』。明治、大正、昭和と真摯に仏の姿を模写し、壁画に向き合い続けた画家たち。△記録事業の際、ひそかに貴重なカラー写真での撮影に挑戦していた撮影技師。△昭和42年壁画再生プロジェクト：稗田一穂（99）の証言。△ひとりひとりの熱意が、戦後思いがけず火災で焼けた金堂壁画の再現へとつながっていった。△コロナによる開催中止の東京国立博物館の展覧会も紹介。

司会：小野正嗣（作家）、柴田祐規子（NHKアナ）、出演：篠原ともえ、有賀祥隆（美術史家）、荒木かおり（絵師）、山内峯誠（文化財技師）、D：大島洋子、P：天野静子、制作統括：加藤満喜、梅原勇樹、制作協力：オフィス天野、制作：NED、制作著作：NHK、

4月18日（日）23:00～、60分、NHKEテレ

ETV特集「7人の小さき探求者～変わりゆく世界の真ん中で～」

△気仙沼市小泉小学校の7人を、12/11より、卒業式までの100日間を取材する。△東日本大震災をきっかけに、全国に先駆け「p4c（ピーフォーシー）、子どものための哲学Philosophy of children」～対話を通じて考える力を育む授業～を行ってきた。△戦争で失われる大切なものとは？ △2/10 避難訓練。

△幼稚園から一緒に7人、3/1が卒業式。△突然、新型コロナウイルス対策で休校！ 2/28最後の「対話」。

～子どもへのインタビュー、未熟な聞き手ゆえか、あまり魅力はない…。～ 撮影：鈴木亘、取材：堀越伶、D：松原翔、制作統括：矢吹寿秀、飯田健治、

4月18日（土）22:00～、60分、BS-TBS

ドキュメントJ「イントレランスの時代」

△2020年2月制作、死刑判決が出る前の取材。神戸金史記者が3年余「やまゆり園事件」を考えた記録。イントレランス＝不寛容。△植松被告との面会。

△ヘイト…在特会桜井代表。△史実の否定…百田尚樹。△神戸記者、沖縄タイムス・阿部岳記者、神奈川新聞・石橋学記者がヘイトスピーチに毅然と抗う。

△自身の障害者への差別は！…八王子打越保育園で障害児27人を一緒に保育。

撮影：高橋邦広、羽二生渉、森雄吾、山本徹、神戸金史、編集構成：山本徹、松石泉、中田慎一、ナレ：池尻和佳子、坂田周大、佐藤巧、クリス・フリン、

面会同行：奥田知志、石渡和美、小宮亜里、小木戸利光、鳥山穰（TBSラジオ記者）、D：神戸金史、P：児玉克浩、制作著作：RKB毎日。

～労作です。心して見るべし。死刑判決3/13が死刑確定3/31前に、放送して欲しかった…。2020年「日本民放連賞 優秀賞」受賞。～

【おまけ・ドキュメントJのFacebookより・神戸金史】（言葉遣い・文の省略・抜粋あり）

～今、パンデミックが人の心に潜むイントレランス（不寛容）を可視化させている。～

正義感と不寛容は表裏一体で、「感染は不注意だ！」と身元をネットに晒す人。あえて“武漢ウイルス”という人。私たちにも「不寛容」の心が潜んでいる。

植松聖死刑囚は不寛容という心の中のナイフを現実の刃に変えた。私（神戸金史）の長男は自閉症と知的障害があり、幼い頃は殆どコミュニケーションが取れなかった。事件を他人事とは思えず、3日後に個人的な文章をFacebookに投稿した。

『（略）老いて寝たきりになる人は、たくさんいる。事故で、唐突に人生を終わる人もいる。人生の最後は誰も動けなくなる。誰もが、次第に障害を負いながら生きていくのだね。（略）息子よ。そのまま、いい。それで、うちの子。それが、うちの子。（略）』この投稿から表現の場が広がる。事件から3年半、公私にわたる表現の総まとめのテレビドキュメンタリーを制作。ディレクターの一人称。自らの家族も登場し、いつもは電波に乗せるのをためらう差別的な言葉もそのまま流し、モザイクは原則かかない。番組タイトルは、サイレント映画の傑作『イントレランス』（1916）から引用。この映画は、古代バビロンから20世紀のアメリカまで、4つの時代の不寛容を描き、「いつの時代も、どの国でも、寛容さが失われた時に悲劇は起こる」と訴える。映画公開から100年後、事件は起きたのである。

4月19日（日）4:30～、30分、テレビ朝日

テレメンタリー2020「焦燥の居場所 ひきこもり100万人時代」 ナレ：湯浅真由美、D：高橋賢、P：諸岡亨、制作著作：山口朝日放送

△人目を避けて暮らすひきこもりの人たちはどんな心境で毎日を過ごしているのだろうか。その声に耳を傾けると行き場のない焦燥が聞こえてきた。

△宇部市NPO法人「ふらっとコミュニティ」山根俊恵理事長。70人の家族を支援。山口大学大学院精神看護学の指導の下、精神看護師が支える。

4月26日（日）4:30～、30分、テレビ朝日

テレメンタリー2020「母をさがして 養子縁組で渡米した洋子」

木川剛志（和歌山大学教授）のもとに、木川姓の女性（キガワ ノブコ）を探してとのメッセージが舞い込む。バーバラ・マウント・キャッスル（71）。SNSで手あたり次第に「母と同姓」の日本人にメッセージを送ったのだ。△戦後、米兵と日本人女性の間に生まれ、5歳の時に養子縁組でアメリカに渡った女性が、実の母を探していた。△女性の渡米を記した新聞記事があった。半年後、暮らしていた町を探し出した。△バーバラは66年ぶりに日本に降り立った。かつて暮らしていた町で、パン工場に勤めていた同僚が、実母の写真を持って来る…。 ナレ：古川昌希（ABCテレビ・アナ）、D：猿渡件、P：藤田貴久、制作著作：ABCテレビ。

5月2日（土）23:00～、60分、NHKEテレ

ETV特集「義男さんと憲法改正」

1946年5月鈴木義男、憲法改正案・小委員会の議事録。一部再現ドラマ。憲法9条平和主義、平和を愛好する。国家賠償請求、刑事補償請求。生存権を主張＝社会権。 語り：中条誠子、ドラマ演出：佐古純一郎、D：吉峰美和、制作統括：塩田純、梅原勇樹、制作：NED、制作著作：NHK

5月6日（水）22:00～、55分、NHKG、

NHKスペシャル「わたしをあきらめない ～5年1組子どもたちと先生の1年～」

△川崎市東菅小学校、熱血先生・池邊信二（52）。5年1組の担任になる。かつて、いじめ自死事件で原因調査（教育委員会）に行った経験から、「二度と子どもを死なせない」と誓う。△しかし、子どもたちと向き合う日々は困難の連続。多様な出自をもつ子どもたち。真剣に向き合っても、どこからともなく『いじめの芽』が吹く…。△残り2日、2/28に突然の休校！ 語り：上田早苗、D：小松友久、P：成松弘明、木寺一孝、制作著作：NHK

～先生が主役だが、子どもたちの顔が見えない。～

5月9日(土) 23:00～、60分、NHKEテレ

ETV特集「映画監督 羽仁進の世界 ～すべては“教室の子供たち”からはじまった～」

羽仁進は面白い！ 上映会で“教室の子供たち”が集まった…。

語り：伊勢佳世、D：平田潤子、制作統括：東野真、橋本佳子、牧野望、制作：NED、制作著作：NHK、ドキュメンタリージャパン、

5月16日(土) 23:00～、60分、NHKEテレ

ETV特集「お父さんに会いたい ～“じゃばゆきさん”の子供たち～ ～秀作です。よく取材しています。各人物のキャラが良い。～

△2019年11月～取材。かつてアジアから来日し「じゃばゆきさん」と呼ばれた女性は、約100万人。日本人男性との間に生まれた子どもは10万人～20万人と言う。△捨てられた子供たちが成人を迎え、多くが今、日本を目指す。目的は父親探し。20歳以前に父の認知があれば日本国籍の取得が可能なのだ。△しかし認知は簡単ではない。△父親と自らのアイデンティティーを探し求める若者のまなざしから、日本社会を見つめる。

△良太(20) フィリピン人とのハーフ。高卒後18才で日本へ。19才、日本国籍取得。派遣会社就職。「父が愛さなくなっても、子は父を愛す」、良太の母は「父を許す。父を否定すれば、自分も否定することになる。良太をくれて、ありがとう！」

△フィリピン人移住センター(支援組織) バーージ石原(代表)。:DNA鑑定を要求され、検査の日、父は面会を拒否。(代表が間に入り?) 親子関係が証明され、日本国籍を取得。△支援組織・マリガヤハウス:婚外子で50件の相談。国籍取得は3割。△エリカ(18) 仕送りが止まる。認知を取って日本に行き働き、学びたい。

△明子(28) 父は認知したが会うのは拒否。日本に来て4年、19年5月母が死ぬ。

△吉長武志。40年前フィリピンバブに通う。女性が妊娠、「家系が途絶える！」と両親が反対。金を支払って女性は帰国、音信不通に。無責任だったと今は回顧する。娘・めぐみ、4年前より交流…。 撮影：角文夫、コーディネーター：穴田久美子、D：石原大史、唯井南、P：矢吹寿秀、星野真澄、

5月17日(日) 4:30～、30分、テレビ朝日

テレメンタリー2020「一瞬の代償 ～“ながらスマホ”に奪われた命～

ながらスマホ運転で命を奪われた・苦悩する遺族。昨年37人。△魚沼市・井口貴之(48) はバイクでツーリング中の妻を、スマホで漫画を読んでいた男のワゴン車に追突され、後続車にも跳ねられる。妻は死亡。△加害者は2019年半決で懲役3年。たった3年で普通に戻るのか! 妻の死を未だ受け入れられない…。

ナレ：三河かおり、D：塚元勇雄、P：織原正明、石川洋一、制作著作：UX新潟テレビ21

5月17日(日) 20:00～、50分、NHKBS

BS1スペシャル「デジタルハンター ～謎のネット調査団を追う～

<オープンソース・インベスティゲーション(公開情報調査)>を駆使する・デジタル時代の新たなジャーナリストたちを紹介。

政府や犯罪者が隠す真実を、ウェブで公開の画像やSNSの情報を徹底的に解析して真相に迫る。△エリオット・ヒギンズ(41・英人・ゲーマー)が、特殊技能を持つ世界中の仲間とオンラインで声をかけ、<ネットワークで調査を行うスタイル>を確立。『世界で一番面白いゲームを見つけた!』

△イランのテヘラン・ウクライナ航空機の墜落。△中国武漢のコロナ危機の実態。△カメルーン奥地の銃殺事件の真相。△新疆ウイグル自治区での中国政府によるウイグル族の人々への迫害。△オープンソースの開発者・ヒギンズは6年前、調査集団「ベリングキャット(猫に鈴を付ける)」を立ち上げる。△人材の育成(カリフォルニア大で半年かけて学ぶ)と派遣、ノウハウを世界中メディアに伝授しチームを作る。

語り：西東大、取材：西田博行、D：橋爪かおり、若宮敏彦、吉田里佳子、P：吉田宏徳、制作統括：小林大佑、高木徹、制作：NHKグローバルメディアサービス、

～よく分かる・オープンソース・インベスティゲーション。タイトルが少し野暮ったい、残念。～

～『いま最も、オープンソース～のチームが必要なのは日本ではないか…』との投稿あり。～

5月17日(日) 24:55～、30分、日本テレビ

NNNドキュメント20「僕を笑えますか? 障害者×お笑い」

寝たきり芸人・おそどっく(41)。阿曾太一、熊本県合志市、芸歴9年目。せき髄性筋萎縮症・20代後半で寝たきりに。15人のヘルパーが24時間交替で支える。口元と親指でネタ作りもヘルパーさんと。△2018年1月R1グランプリ1回戦敗退。その後、福岡のライブハウスで芸人として認められる。△色んな人とつながれるツールが「お笑い」、「感動?されたくない。24時間テレビ?出たい!」「感動ではなく笑いがほしい!」△障害者に対する世間の「常識」や「イメージ」も逆手に取る。

あなたは寝たきり芸人を笑えますか? 語り：風間俊介、YouTube撮影：越智貴雄、D：彌永裕也、P：富永大介、制作著作：福岡放送(FBS)

5月18日(日) 25:20～、30分、TBS

JNNドキュメンタリー ザ・フォーカス「ムクウェゲ医師の終わらない闘い」

2019年10月、コンゴ民主共和国の婦人科医、デニ・ムクウェゲさん(65)が来日。2018年のノーベル平和賞受賞者は訴える。武装勢力による性暴力の被害者(女性)は6か月～91歳の40万人以上。レアメタルやウランの鉱山の周辺でレイプが横行。日本を含む先進国のスマホ利用に原因がある。

ナレ：中里雅子、D：立山芽以子、P：佐古忠彦、制作：TBS

5月25日(日) 4:30～、30分、テレビ朝日

テレメンタリー2020「保育園に行きたいよ ～医療的ケア児と共に生きる～」 D:寺尾佳恵、P:藤田貴久、制作著作:ABCテレビ

△障害児は保育園に行けない!! 2万人、年1000人増加している。だが、受け入れ可能は450人。△呼吸を忘れる・3才の女兒。働きにも行けない両親。

5月25日(日) 24:55～、55分、日本テレビ

NNNドキュメント20「クリスマスソング 放射能を浴びたX年後」 ～☆☆秀作です!!☆☆～

2011年以降、日本各地で行われた放射線測定。その過程で、核実験由来の放射線が見つかる。浮かんだのは半世紀以上前の列強国による核実験。

△1957年マーシャル群島のクリスマス島、水爆実験。17才～19才の英軍兵士。魚を食べた英兵士の娘(13)に後遺症。英政府は認めない。

△マグロ漁船が操業。槍垣晶作(17)。漁はもちろんだが、原爆反対洋上デモのため被爆。ナレ:浜野謙太、撮影・D:伊藤英明、荻山雄一、制作著作:南海放送。

5月31日(日) 4:30～、30分、テレビ朝日

テレメンタリー2020「タンチョウふたたび」

△2014年札幌近郊の長沼町の舞鶴遊水池周辺の農家15人で、「タンチョウを呼び戻す会」を結成。会長・加藤幸一(66)。△100年前に姿を消した、特別天然記念物

タンチョウ。遊水池にエサ場を造り、巢材のヨシも植え、少しずつタンチョウが再び湿地へと姿を変えた。△2016年、タンチョウが飛来・2羽。渡り鳥が4万羽、

春巻き小麦が被害に遭う。2020年4月、卵を抱く。△密着取材1500日、住民と農業とタンチョウが共存できる町へ、模索を続ける農家たちの活動に迫る。

撮影:小山泰範、石田優行、監修・撮影指導:正富宏光、ナレ:森さやか、D:沼田博光、P:坂本英樹、制作著作:HTB

6月7日(日) 4:30～、30分、テレビ朝日

テレメンタリー2020「僕、変な人じゃありません」

△吃音症・本多駿。大学4年の就活で不採用。言語治療士の専門学校に入学。言語聴覚士の指導で発声訓練を行っている。成人で吃音症は100人に1人。

△チック症の患者らの交流会。チック症は子供の10人に1～2人が発症。△トゥレット症は音声・運動チックが1年以上続く。大学生の酒井さん。小学3年生、トゥ

レット症と診断された。 監修:東大こころの発達診療部。D:東出紀弥、P:須田光樹、井手康行、CP:東貞夫、制作協力:JCTV、製作著作:テレビ朝日

6月7日(日) 24:55～、30分、日本テレビ

NNNドキュメント20「私たちがJK課 ～イマドキ女子だからできる……～」

△福井県鯖江市(人口7万)の死役所が、2014年4月「JK課プロジェクト」を立ち上げ、女子高生13人(一期生)に町の活性化を託す。

△プロデューサーは若新雄純(慶応大准教授・コミュニケーション論)。事業費100万円。高卒で町を出るので、18才までに町を知らせたい! △実績を紹介。

ナレ:百田夏菜子、D:吉岡弘起、P:吉田慎二郎、CP:大坂治久、制作著作:FBC

6月7日(日) 25:20～、30分、TBS

JNNドキュメンタリー ザ・フォーカス「私は殺していない ～再審無罪への17年～」

△2003年5月東近江市「湖東記念病院」で、看護助手の西山美香(24)が患者の人工呼吸器を外して殺害したとして、2004年に逮捕・起訴された。 △裁判では

「取り調べ官を好きになり、言われるがまま自白」と否認したが認められず、懲役12年の罪が確定した。 △獄中から「えん罪」を訴え、再審=裁判のやり直しを求めた。軽度の知的障害など「供述弱者」の課題が残る。△2017年8月和歌山刑務所を出所。西山さんへの取材をはじめる。12月大阪高裁で再審開始を決定。

△2020年2月大津地裁での再審公判から、3月31日の再審判決までを追う。△えん罪被害に苦しむ西山さんの思いを伝えるとともに、えん罪を生みやすい今の日本の捜査・裁判のシステムを検証し、問題提起していく。 ナレ:西甫、D:津村健夫、P:奥田雅台、制作著作:MBS/毎日放送。

6月9日(火) 22:00～、60分、BS-TBS

ドキュメントJ×長野「伊那谷棚田奮闘記」 ～のんびりと甘い～

2019年7月制作。2018年耕作放棄地に都会の若者3人が来る。出口友洋(41)、市川滋彦(45)、細谷啓太(31)。「耕作放棄地の棚田でコメ作りをしてハワイで

売る」。△3人とも米作りは初心者。10年間、田んぼを借りる。ひたむきな彼らは地元を受け入れられる。耕作の請負もする。 △加藤二葉は彼らをたびたび自宅に

招いては夕食をふるまう。本人は「私のボケ防止でやっている」と笑う。 △初年度は収穫量4トン。2年目、地元出身の青年が加わる。台風被害で収支トントン。

3年目、地元の青年が加わる。 ナレ:長谷川萌、D:富田尚武、手塚孝典、制作協力:TV-4、コンテンツビジョン、制作著作:SBC信越放送。

6月13日(土) 23:00～、60分、NHKEテレ

ETV特集「引き裂かれた海 ～長崎・国営諫早湾干拓事業の中で～」

△1987年漁協工事受け入れ。漁獲は2割減るだけ、と。森義春組合長は「海を売った!」⇒1989年工事が始まる。埋め立て工事を請け負う業者になる。⇒建設会社が倒産。△漁協の元組合長の妻「干拓お海も人間関係も壊した」。△小長井町の漁師・松永永則「定置網は最盛期の10分の1。諫早湾は有明海の子宮。」89年～92年

タイラギの死滅。「仲間がバラバラ」。△調整池と水門。営農者は水門を開けるのに反対。給水の水が使えない。一方、水門を開ければ、排水に含まれる有機物を食べるムツゴロウや貝が復活し干潟は回復する。 語り：井芹美穂、取材：岩下宏之、D：吉崎健、制作統括：石田涼太郎、梅原勇樹、制作著作：NHK福岡
～誰もが幸福になれない 国策をどうして止められないのか?!～

6月14日(日) 22:00～、50分+50分、NHKBS

BS1スペシャル「ジャパニ ～ネパール・出稼ぎ村の子供たち～」

「ジャパニ」とはメイドインジャパンのこと。△9万人のネパール人が日本にいる。ガルコット郡では1500人が出稼ぎに日本へ。△祖母が育てている・9才のピピシヤ、私立の学校に通う・寮費1万2千円。日本にいる父母に呼び寄せられる。△夫(料理人のビザ=100万円) コック、月10万円。妻(配偶者ビザ) コンビニのパッキング、ホテルの清掃、月20万円。△2008年、夫が来日。12年店を開く。妻は日本でも妊娠し、ネパールで出産、3か月で、日本へ。△ピピシヤ、2019年4/7日本へ。馴染めず、激しい親子げんかの果てにネパールに帰る。 語り：光岡湧太郎、取材・撮影・D：ディペシュ・カレル、斎藤麻実、編集：太田一生、ディペシュ・カレル、プロデューサー：米本直樹、制作統括：太田宏一、松永真一、制作協力：NEP、制作著作：NHK、テムジン

6月14日(日) 24:55～、30分、日本テレビ

NNNドキュメント20「さよなら、私のデパート」 ナレ：伊藤紗莉、D：加藤美樹、P：柳井宏治郎、CP：徳山司、制作著作：TeNY(テレビ新潟)
新潟市古町の三越デパートの閉店(3月22日)までの3か月の日々を追う。従業員の殆どが駅前の新潟伊勢丹に再就職。

6月21日(日) 4:30～、30分、テレビ朝日

テレメンタリー2020「良心の実弾 ～医師・中村哲が遺したもの～」

自身の後継者は用水路。スローガンのない人(澤地久枝)。亡くなる直前、完成した教材ビデオ「用水路の建設」を見て笑顔になった。

ナレ：藤本隆宏、アフガニスタン取材：1992年小林俊司、白井賢一郎、D：河村聡、P：白井賢一郎、制作著作：九州朝日放送

6月21日(日) 24:55～、30分、日本テレビ

NNNドキュメント20「封印 証言者たち ～沖縄戦に秘められた鉄道事故～」

1944年12月11日、移動中の兵士など220人以上の死者。沖縄県営鉄道(小型軽便鉄道)・嘉手納線の爆発事故。糸数ヨシ子(84)の証言。生き残りは一人。登り坂で煙突から火の粉がドラム缶のガソリンに引火して爆発。サトウキビ畑に弾薬があり、集落を巻き込む大爆発になる。軍の不祥事として封印される。

ナレ：森富美、藤田大介、取材：前城均、D：及川光昭、P：今村忠、CP：有田泰紀、制作著作：日本テレビ。

6月21日(日) 25:20～、30分、TBS

JNNドキュメンタリー ザ・フォーカス「遅すぎることはなかった ～オランダ戦後75年の補償～」

2020年1月オランダ・ドレンテ洲『バスラレボルグ通過収容所』で追悼式が行われ、6日間かけて、1万2千人の名前が読み上げられた。アンネ・フランクの名も。△ナチスから多額の資金を貰った・国営オランダ鉄道がユダヤ人の移送に協力。1000キロ以上を3日間かけて『絶滅収容所(アウシュビッツ)』へ送られた。△10万7千人が移送され、5千人が生き残る。まだ300人が存命。国営鉄道は2005年謝罪し、2019年1人当たり150万円の賠償金を払った。△追悼式典では、首相がオランダ政府として謝罪。「加害の歴史に向き合うことが、次の世代につなぐ。」～被害者の祈りと加害者の反省に終わりは無い～

ナレ：長峰由紀、報告：西村匡司、撮影編集：寺島尚彦、P：佐古忠彦、制作著作：TBS

6月27日(土)、23:00～、60分、NHKEテレ

ETV特集「すべての子どもに学ぶ場を～ある中学校と外国人生徒の歳月～」

△2019年文科省の外国人の子どもの調査で、不就学の児童生徒が全国におよそ2万人。外国人の子どもは義務教育の対象外、対応は自治体任せ。△岐阜県可児市(人口の10%が外国人)では、外国人の子どもの不就学ゼロを目指している。一人も取り残さないと、奮闘する学校現場の1年を追う。△朝、学校に来ない家族に、4人の通訳が連絡、1軒ずつ尋ねる。△来日間もない外国人には、ばら教室KANI(小1～中3・3か月間の日本語授業)があり、英数国には2年間、一人一人に個別の通訳がつく。△日本語教師の導入の経緯。△塩野ホドリゴさん、2001年蘇南中学卒、90年代はイジメ差別で母親が学校に付き添う。△不就学児が増えたと街が荒れる…20年に及ぶ取り組み。△蘇南中の卒業式…外国人生徒57人全員が卒業。47人が高校へ行く、就学支援(可児市から)もある。6人が就職。

語り：コムアイ(水曜日のカンパネラ)、D：山浦林仁、P：山口智也、制作統括：東野真

6月28日(日) 24:55～、30分、日本テレビ

NNNドキュメント20「父の終活、息子の未来」

△中京テレビ報道記者・田中徳積(59)。妻・悦子。長男・佑季(23)は強度行動障害のある自閉症。△2018年1/23、自閉症の息子を、父親(50)が将来を悲観して殺す。息子と同じ養護学校に通っていた…。△私は息子のために何を遺すことができるのだろうか。私たち親の死後、息子が自立して生きていく場所を探す、私

の終活。その全てを記録した。△息子の未来のため、精一杯することが、私の終活だ。

ナレ：松岡陽子、リサーチ：杉浦邦枝、D：田中穂積、P：枝尾亮太、監修：安川克己、制作著作：中京テレビ。

6月30日(火) 21:00～、60分、NHKBS

アナザーストーリーズ「多摩川水害と『岸辺のアルバム』 ～喋りっぱなしで、余白がなさ過ぎる！～

1974年9月1日台風16号、夕方避難勧告。夜9時本堤防決壊、5日後19軒が流される。

△①日常を失われた被害者家族(1955年売出し戸建て住宅)宿河原堰・農業用水路取水口の決壊。△②1977年「岸辺のアルバム」原作：山田太一、1976年東京新聞連載。P：堀川とんこう。とんこう氏のインタビューが秀逸。△③訴訟。弁護士・高橋利明。

ナレ：松嶋、語り：濱田岳、D：深田聖介、P：西山亮、制作統括：村井晶子、齋藤倫雄、制作：NED、制作協力：東北新社、制作著作：NHK

7月1日(水) 26:50～、55分、フジテレビ

FNSドキュメンタリー大賞「りんごのまちで育つ子へ ～親子を支える『みんな食堂』～ ～コロナで活動が中断し、途中経過のレポート。続編を望む。～

北海道札幌市豊平区。コミュニティーラジオ局が開く、月1回の子ども食堂。食堂と学習会。支援する人たちと支援を受けた子供たち。FMアップル。塚本薫局長(シングルマザー)：子供のたまり場を作る・週1の学習会、月1の『みんな食堂』。取材・ナレ：新崎真倫、取材・P：涌井寛之、制作著作：北海道放送。

7月5日(日) 4:30～、30分、テレビ朝日

テレメンタリー2020「強度行動障害 ～わが子を手放す日～」 ～重たい…です。～

2018年1月から、2年半の記録。滋賀県守山市。父・和田進(58)、母・泰代(50)、長男・智泰(17) △智泰は、重度の知的障害と強度行動障害がある。強度行動障害とは自閉症の人に表れる後天性の障害。物を叩いたり、自分自身を傷つけたり、激しい行動が表れる。日本に8000人ほどいると推測。詳しい調査はない。△両親で、生活の全てを支えてきたが、年々歳を重ね、介助が限界になる…。ナレ：宮城さつき、D：西村美智子、P：藤田貴久、製作著作：ABC

7月11日(土) 23:00～、60分、NHKEテレ

ETV特集「ひなたの水 九二歳、桜守の遺言」

16代・佐野藤右衛門(92才)を桜守の日々を追う。京都の仁和寺、円山公園など名桜。「温暖化が目で見えるようになった。亜熱帯に近い。」

△2019年の巨大台風で倒れた桜の再生。「異様」…落ち葉が1か月遅れている、花芽が小さい。

取材：山本恵梨子、D・編集：井上春生、制作統括：中村光博、吉村恵美、東野真、梅原勇樹、制作：NED、制作著作：NHK、テレコムスタッフ、

7月12日(日) 24:59～、30分、日本テレビ

NNNドキュメント20「ふたりの旅路 ～酪農大家族26年の記録～」 ナレ：市毛良枝、D：遠藤隆、藤原哲也、制作著作：テレビ岩手

1994年の6男誕生から取材。岩手県田野畑村。吉塚公雄(69)と登志子さん(63)は山地酪農(えさの自給)に取り組む。四季を通じて牛を山に放つ究極の自然な酪農を実践。△公雄は東京生まれ、東京農大卒。家族が増えても、年収は増えない7人家族。40年の酪農人生…。

7月18日(日) 23:00～、60分、NHKEテレ

ETV特集「雪冤(せつえん) ～ひで子と早智子の歳月～」 ～ふたりとも、明るいのだ。～

冤罪の夫(袴田巖)を支える姉(ひで子87才)と冤罪の夫(石川一雄)を支える妻(早智子81才)。△袴田事件の経緯・事件から54年。狭山事件の経緯・事件から57年。ナレ：加瀬亮、撮影：池田俊己、取材：庄野嘉純、D：金聖雄、制作統括：花野周一、東野真、太田宏一、制作：NEP、制作：NHK、Kinoon Film、

7月20日(日) 24:55～、30分、日本テレビ

NNNドキュメント20「野犬と飼い犬 殺処分ゼロの裏側で」

△人間に捨てられ野生化した犬=野犬。石川県奥能登・珠洲市。野犬に牛が噛まれ、猫が殺される。殺処分ゼロ(法改正)で野犬が増える。捨てる人。エサをやる人。ナレ：松本光生、撮影編集：野本真司、D：守田大地、P：北尾美和、CP：金本進一、制作著作：テレビ金沢

7月21日(火) 26:05～、55分、フジテレビ

FNSドキュメンタリー大賞「テレビで会えない芸人」

松元ヒロ(66)鹿児島出身。「弱者の立場からモノを言いたい。世の中を笑い倒したい。多数派の意見で作られていく今の世の中、テレビもそう。

だからこそ、小さな声に耳を傾けることに意味がある」松元ヒロがテレビを捨てた理由だ。△2019年春から1年間の密着取材。△パントマイムから始まり、社会風刺コント集団「ザ・ニュースペーパー」を旗揚げしてブレイク。20年前、政治家の名前が言えなくなって脱退し、ソロ活動になる。46歳。「息子に胸をはって生きたいから」△永六輔からの伝言「9条をよろしく。」平和じゃ無ければ笑いも無い。「憲法くん」

△コロナの同調圧力。構成協力：岩井田洋光、撮影：鈴木哉雄、D：牧祐樹、P：四元良隆、制作：野元俊英、制作著作：KTS鹿児島テレビ

7月26日(日) 4:30～、30分、テレビ朝日

テレメンタリー2020「私がやらない限り ～性暴力を止める～」 ～丁寧な佳作。分かり易い。～

声をあげる！決意した人々の記録。△性暴力への無罪判決が相次ぎ、2019年4月フラワーデモが始まる。20年3月法務省は性犯罪法の検討会を設置。初めて、被害当事者が検討委員会のメンバーに入る。△20年7月フラワーデモが再開する。 ナレ：伊藤詩織、撮影：菊地剛、小林孝子、D・編集：濱地映季、P：浦本勲、土井研吾（東京ビデオセンター）、須田光樹、取材協力：（一社）Spring・山本潤さん、制作協力：東京ビデオセンター、制作著作：TV朝日。

7月26日(日) 24:55～、30分、日本テレビ

NNNドキュメント20「相対的貧困 ～扉の中のSOS～」

△2014年シングルマザーが中学生を殺害。子どもの7人のうち、1人が相対的貧困。△新発田市の土田雅穂(70)元市職員がフードバンクで支援(200世帯)。△アヤカ：子は男2人と女1人(高校生と中学生)。渚：子は女1人、リュウマチで働けない。月11万円・障害者施設の臨時職員。 ナレ：坂本真澄、D：加藤〇子、P：芝至、CP：須山司、制作著作：テレビ新潟(TONY)、

7月29日(水) 22:00～、30分、NHKG

クローズアップ現代+「戦争をどう語り継ぐか」

吉永小百合の元へ送られて来た「戦争体験の手紙」から、松居大悟ほかの演出で、オムニバスのミニドラマ『戦争童画集』を作る。8/24放送。△22才の若い役者(第4世代＝祖父母が戦後生まれ)に、戦争をどう語り継ぐか? △高校生が作ったVR…平和学習“日常”を学ぶ。楽しい日常を壊してしまう戦争を考える。 出演：武田真一、宮田裕章(慶應義塾大学医学部教授)、芋生悠(俳優) 語り：浅野真澄、D：宮本崇司、築山貞観、上田ひかり、制作統括：本間一之、漆間田智之、 ⇒⇒

8月24日(月) 22:00～、45分、NHKG/9月18日(金) 21:59～、60分、NHKBS

戦後75年特集「戦争童画集 ～75年目のショートストーリー～」

△家族全員で見られるオムニバスの物語。△『広島原爆投下の物語』演出：山田洋次、長澤まさみ、加藤健一、蒼井優ほか。△『ひめゆり学徒の苛酷な戦いと友情』演出：松居大悟、黒島結菜ほか。△案内役の吉永小百合はNYの坂本龍一とコラボし、平和の詩を朗読。△さらに橋本環奈出演のドラマ。 出演：吉永小百合、長澤まさみ、加藤健一、蒼井優、橋本環奈、黒島結菜、田中要次、松下由樹、芋生悠ほか、音楽：坂本龍一、制作統括：本間一成

7月30日(木) 22:00～、30分、NHKG

クローズアップ現代+「歴史」が消えて行く～戦後75年なぜ閉鎖が相次ぐ資料館～」

△高齢化。入館者の減少。施設の維持管理が出来ない。△本来は国がやるべきことを民間が支えてきた。私立博物館を前橋市が引き取るケース。△自ら建てたレイテ島の慰霊碑を燃やす・99才の松本さん。△開館できない東京平和祈念館、戦争史観の違い。

8月2日(日) 4:30～、30分、テレビ朝日

テレメンタリー2020「揺れる平和都市 ～被服廠は残るのか～」

ナレ：富田奈央子、D：山口和政、P：上重三四郎、制作著作：広島ホームテレビ、被爆者が押し寄せた・被服廠。全棟保存で87億円(耐震工事を含む)。県は2棟解体を提案・結論は1年延期。広島市・被爆者の願いは届かない。 △ドームの保存工事、ようやく7月に入札。△働いてた人93才：残して欲しいけど、無くなれば嫌な思いをしなくていい…。

8月2日(日) 21:00～、50分、NHKG

NHKスペシャル「沖縄“出口なき”戦場 ～最後の1か月で何が～」

アメリカ軍の新資料とデータ解析による。首里陥落後、1か月半で住民4万6千人が死ぬ。6/20米軍南部征伐～住民の集団自決。銃器を据えて、ガマの中で住民の投降を許さない。黒糖を巡って住民を殺す。△75年、惨禍の爪痕は今も刻まれている。 語り：中條誠子、取材：松下温、西銘むつみ、D：松岡哲平、三宅祐治、二階堂はるか、制作統括：小池幸太郎、田中清高、松木秀文、制作著作：NHK

8月2日(日) 24:55～、30分、日本テレビ

NNNドキュメント20・シリーズ戦後75年「煉瓦の記憶 広島・被爆建物は語る」

軍都広島の記憶。学徒動員で勤務した切明千枝子(90)。全3棟保存で100億円。2棟解体案を先送り。△原爆ドームは1966年秋保存。加害の歴史と被害の歴史、両方を伝える。物言わぬ証人だから。 ナレ：吉川晃司、撮影：岡田隆宏(建物の映像はこちらが良い)、D：鶴紗也子、P：岡田純一郎、制作著作：広テレ!

8月2日(日) 25:30～、30分、TBS

JNNドキュメンタリー「戦世(いくさゆ)の哀(あわ)り～サイパン・太平洋の防波堤～」

西太平洋の600を超える島々「ミクロネシア」。日本は「南洋群島」と呼び、25年間『委任統治』という占領を続ける。△サイパンに、海軍主導で「南洋興発」を設立、製糖業・水産業など起こし、沖縄から移民を送り込み植民地化へ。サイパンの日本人2万7000人、その7割を沖縄出身者が占める（1942年）。△テニアン飛行場の建設：赤誠隊（受刑者）2000人。工事で60人死亡。後に米軍に本土空襲に使われる。△1944年6月サイパンに米軍上陸。政府は住民を戦力と捉え、少年にも手榴弾2コ、日本本土を守る防波堤として多くの命が失われた。バンザイクリフ。△おきなわの塔、50回で慰霊祭を終わる。△なぜ「戦世の哀れ」が起こったか、考え続けることが。私たち戦争を知らない世代の「彼らへの弔い方」かも知れない…。
語り：仲村美涼、D：伊良波美海子、P：比嘉俊次、制作著作：RBC琉球放送

8月3日（月）21:00～、59分、NHKBS

BS1スペシャル「もし75年前にSNSがあったなら 1945ひろしまタイムライン」

NHK広島の後75年企画。75年前の経験を、☆新聞記者の大佐古一郎（故人）☆主婦の今井泰子（故人）☆中学1年の新井俊一郎、3人の実在の人物の日記手記などをもとに、「一郎」「やすこ」「シュン」の名前でツイッターに投稿。高校生や公務員、元放アナら計11人が投稿を担当。△番組では～。

ナレ：中嶋朋子、声の出演：古舘寛治（一郎/新聞記者）、土村芳（やすこ/新妻）、醍醐虎汰朗（シュン12才）、

D：山田秀哉、平尾梨佳、池田桃子、池野彩、P：末廣信吾、制作統括：上松圭、制作著作：NHK広島。

～若い人には『つぶやき』だから届くのかな？ 老人はどうも頼りない～

△放送終了後も投稿は続く、今年末まで。8月20日『朝鮮人への敬意をあおる・ヘイトツイート』が溢れる。

～管理を怠ったNHKの失態は明らかである。弁護の余地ナシ。編集責任を意図して放棄した・プロデューサーは、ヒロシマで番組制作に関わる意味を、改めて問い直して、感じて欲しい。～

8月6日（木）15:08～、52分？、NHKG

にっぽんぐるり「語りだす被爆建物」

8Kで撮影、ダンコンレハイビジョンで放送。原爆ドーム、袋町小学校資料館、旧広島地方气象台、にぎ津神社、広島通信病院・旧外来棟、以下略。

語り：杉浦圭子、D：今井志郎、制作統括：斑目幸司、田中清隆、制作著作：NHK広島　～証言者がもう少し欲しい～

8月6日（木）22:00～、60分、NHKG

NHKスペシャル「証言と映像でつづる原爆投下・全記録」

原爆投下の全体像に迫る。△原爆開発の責任者・トーマス・ファレル准将の手記が今年発見された。△50年前の「日本の戦争指導者の証言」フィルムがイギリスに残されていた。官僚トップの迫水久常、内大臣木戸幸一。ただの一言も原爆被害者への言及がなかった。△1946年7/16原爆の実験。ポツダム会談のトルーマン大統領に知らされる。△オッペンハイマー「我々は死神なり、我々は世界の破壊者なり」。ファレル「戦争の早期終結のため実践に備せよ！」△原爆の効果を確かめるため、空襲をしない都市・広島、長崎、小倉、新潟が候補。△長崎の原爆投下。この時、B29に同乗した記者、ウィリアム・ローレンスは「もうすぐ死ぬことになる可哀想な悪魔に人は同情や哀れみを抱くだろうか」△3発目を用意…東京、皇居。△終戦から1か月、広島、長崎にアメリカ軍の調査が入る。

△ファレル准将は、その威力と惨禍に衝撃を受ける。『広島と長崎の惨状は、この兵器が我々によって、我々に対して使用されてはならない理由を示す』『原子爆弾をコントロールしなければ、そして国々が共に生きることを学ばなければ、以下の言葉がいずれ現実のものとなるだろう。「世界の大都市と、そこに住む人々は徹底的な破壊と突然の死に直面する」』　ナレ：山根基世、D：佐野剛士、諸星佳織、水嶋大悟、制作統括：佐野稔彦、生田寛、制作著作：NHK広島・福岡。

8月8日（土）8:35～、25分、NHKG

#戦後75年「もういちど“長崎の原爆”をみつめる ～長崎の絵 ふたたび～」　～小品。証言者があと2～3人、欲しかった。～

（5/15長崎県域で放送）原爆の絵の歴史を振り返る。1974年の投稿が始まり、「市民の手で原爆の絵」。2500枚になり広島・長崎の原爆資料館へ。

△2002年より募集と作者の追跡調査。△証言者たち。　語り：黒氏唐博、関根太朗、上田悠華子、D：渡部祐樹、制作統括：山中賢一、制作著作：NHK長崎

8月8日（土）23:00～、60分、NHKEテレ

ETV特集「“焼き場に立つ少年”を探して」

2019年11月ローマ教皇が「核兵器の悲劇の証人」として取り上げた写真。写真の少年の消息を探る。△米軍のカメラマン・ジョー・オダネルの撮影。△番組の詳細は省略。　語り：守本奈美アナ、リサーチャー：柳原緑、取材：川端亜希、D：渡邊英資、P：山中賢一、梅原勇樹、制作著作：NHK長崎、

⇒⇒【長崎県保険医協会の指摘】

「少年の素性や撮影場所の情報」について取材を受け調査に協力したが、放送では不適切な内容が散見された。

また番組内容は、先行研究の吉岡栄二郎著「『焼き場こ立つ少年』は、何処へ」に基づくが、出展が明示されていない。」

8月9日(日) 10:25～、25分、NHKG

#戦後75年「原爆の絵 ～それぞれの「8月9日」～」

(7/17 長崎県域で放送) △坂井アサ…8/10 爆心から500メートルの工場で姉を発見。真っ黒の上半身だけが残って。そのままは描けなかった。
△山口カズ子(92)…爆心から1.3キロ三菱兵器大橋工場。諫早市の診療所で治療。無傷の人が死んで自分が助かったのは、マスク代わりのタオルをくれた人がいたからだ。語り継ぐため絵本を作る。語り：黒氏康博アナ、D：釜井瑛生、制作統括：山中賢一、制作著作：NHK長崎 ～女性ふたりのキャラが良い。～

8月9日21:00～、73分、NHKG

NHKスペシャル「渡辺恒雄 戦争と政治 ～戦後日本の自画像～」 語り：加賀美幸子、インタビュアー：大越健介、D：安井浩一郎、制作統括：三村忠史
⇒⇒再放送・短縮版：2020年3月7日(土) 20:00～、50分+50分、BS1スペシャル「独占告白・渡辺恒雄 ～昭和編・戦後政治はこうして作られた～」

8月10日(月)・11日(火) 20:00～、30分×2回、NHKEテレ

ハートネットTV「優生思想と向き合う 戦時ドイツと現代日本」

命の価値に優劣をつけ選別する“優生思想”に、私たちはどう向き合えばよいのか…。2015年にドイツを訪ねて、戦時中の障害者迫害の証言を集めた藤井克徳(日本障害者協議会代表)とともに2回連続で考える。

- ①『命を選別する政策』…△この夏、旧優生保護法で不妊手術を強制された視覚障害の女性が、国に賠償を求める裁判を起こした。
△ドイツの「断種法」(強制不妊手術)や「T4作戦」(大量殺りく)などの障害者迫害をたどる。40万人が断種の手術を施され、精神病など障害者・7万人が殺される。△日本では、新憲法のもと、優生保護法で2万5千人に不妊手術が施された。
- ②『内なる差別』…△4年前に起きた相模原障害者施設殺傷事件。ネットの一部では加害者を支持する声もあがった。
△戦時ドイツで起きた障害者の迫害に、一般市民がどう関わっていたかをたどる。△戦争で家庭内差別が助長、父の妹(てんかん)が犬小屋に閉じ込められ殺される。医師・看護師は精神病患者の安楽死を“恵みの死”と自己正当化する。△人類社会の性(さが)、個人の中にも優生思想は内在している。
ナレ：河野多紀、D：幸田理一郎、村井晶子、制作統括：六車良多、制作著作：NHK

8月9日(日) 9:00～、45分、NHKEテレ

日曜美術館「無言館の扉 語り続ける戦没画学生」 司会：小野正嗣、柴田祐規子、制作統括：森博明、木道壮司、制作：NED、制作著作：NHK、窪島誠一郎が、展示と保管と修復、その財政的危機を訴える。窪島は、画学生の絵は“芸術の本体”、描くことに喜びを感じている、と。山傾まり(修復家・2020年7/26逝去)は「損傷を絵が生きた時間として尊重する」と修復していく。

8月15日(土) 21:00～、60分、NHKG

NHKスペシャル「忘れられた戦後補償」

民間人80万人の犠牲者に、国は補償をしない。軍人・軍属には60兆円を補償(今も続く)。ドイツ・イタリアは軍人と民間人を区別せずに補償する。△補償をうやむやにした経緯が資料と証言で、編年体で語られる。△講和条約は憲法の枠を超える処理、よって財産権は根拠にならない。…自力でガンバレ！
国民一人一人が負担する。…今の政府と一緒に！ △空襲被害者への“ヘイトの世論”…今も全く一緒です。
語り：広瀬修子、D：横里征二郎、山森英輔、坂井邦博、制作統括：三村忠史、制作著作：NHK、～論理のツメが甘い…？ 構成は…？？～

8月15日(土) 22:00～、50分、NHKBS

BS1スペシャル「果てしなき殲滅線 ～日本本土上陸作戦に迫る～」

陸軍参謀総長ジョージ・マーシャル資料館の録音テープ(終戦の12年後に収録)「戦争終結に向けての作戦」。沖縄戦後・7月鹿児島に空襲、1000ポント爆弾、一般市民を狙い撃ち。11/1に九州南部に70万人で上陸『オリンピック作戦』…毒ガスの使用(地下壕のゲリラへ)。日米双方の恐怖と憎悪。
語り：大竹しのぶ、D：中津海法寛、制作統括：諏訪泰、制作著作：NHK鹿児島 ～タイトル負け。～

8月15日(土) 23:00～、60分、NHKEテレ

ETV特集「サヘルの旅 ～傷みと生きるということ～」 ～☆☆秀作です！☆☆ 取材の積み重ねが、信頼を生む…その典型です。～

女優サヘル・ローズ(名前の意味は「砂漠に生まれたバラ」)。イラン・イラク戦争で孤児となり、7歳でイラン人女性・フローラの養子に。△養母のフローラにがんが見つかり、イランへ。自身の生を確かめるためイラン・バングラデシュ・イラクへと旅へ。辻ディレクターが7年間取材。△養母フローラ。1989年、ホラムシャハラで心理カウンセラー(負傷者の救護)。王様お抱えの医師一家で、家族を捨て、養子縁組して、サヘルの本物の親になる。当時、子どもが出来ない女性しか養子縁組が出来なかった(不妊治療)。△93年、フローラ親子、知人を頼って来日。3週間後住む場所がなくなる。△2013年イラン・ホラムシャハラへ、辻D同行取材。出生記録は無かった。1980年～88年戦争で100万人死亡。△2017年フローラ、乳がん。幼い頃の自分に向き合う…4歳で孤児院へ、なかなか引き取られず、まともな大人にならないと言われる。母は育児に興味無く、祖母に預けた。サヘル、バングラデッシュの孤児に会いに行く。ダッカのストリートチルドレンと養護施設、女性たちの支援施設。

△33歳にもなって、心に孤独を感じる理由が分からない、旅をしながら自分に問いかける「生きていいんです」と。

△19年10月イラクへ。クルド人自治区から難民80万人。ヤジディ教徒のキャンプ。(I Sの恐怖) △サヘルは「鏡に映った顔に、母のフローラを探します」。

語り：石橋静河、サンドアニメ：若見ありさ、撮影：辻陽子、浜崎務、D：辻陽子、制作統括：東野真、制作著作：NHK

8月16日(日) 21:00～、50分、NHKG

NHKスペシャル「アウシュビッツ 死者たちの告白」 ～丁寧な作りです。重い話です！『空腹で思考停止して、通訳で生き残る』、とがめられない…。～アウシュビッツ強制収容所。ガス室跡の地中から、ガラス瓶に入った“メモ”が見つかる。最新技術で解読すると、インディッシュ語(ユダヤ人・ポーランド)で書かれていた。同胞をガス室へ誘導して死体処理などを担った・ユダヤ人特殊部隊「ゾンダーコマンド」のメンバーが残したもの。“裏切り者”と呼ばれた男たちが、密室の中で何が行われていたのかを…。朗読：今井明彦、大場泰正、毎熊克哉、語り：磯野佑子、D：吉岡英由紀、制作統括：花井利彦、制作著作：NHK。

8月16日 23:00～、50分+50分、NHKBS、

BS1スペシャル「原子の力を解放せよ～戦争に翻弄された核物理学者たち～」

荒勝文策(サカキ)：ベルリンで理論⇒ケンブリッジで実験⇒台湾大学⇒1939年京大理学部へ。海軍から委嘱された「F号研究」。「超遠心分離型のウラン濃縮装置」の研究。「サイクロトロン開発」にも着手。だが、初歩的な基礎研究だった…。戦後、GHQ命令で米軍が研究室を破壊、研究ノートを没収される。

～科学技術は光と影をまとっている。～ 語り：吉川晃司、中條誠子、取材協力：政池明、京都大学、スタジオパートD：安本浩二、ドキュメンタリーD：

新田義貴、海南友子、P：高木栄治、KoMori KaySieying 制作統括：浜野高宏、国際共同制作：NHK/SPIEGEL TV/ELEVENARTS、制作著作：NHK、

⇒関連ドラマ・8月15日(土) 19:30～、80分。特集ドラマ「太陽の子」

～ドキュメンタリーを見てからドラマを見たなら、実によ～く、分かりました。変わらぬ貧しさと精神論が。～

8月16日(日) 24:55～、30分、日本テレビ

NNNドキュメント20・シリーズ戦後75年「戦火に消えたアスリート」 ナレ：玉川砂記子、D：行達典子、P：吉田剛、CP：小野俊一、制作著作：西日本放送
日中戦争から太平洋戦争、アスリートは活躍の場を失い次々と戦場へ送られ、命を落とす。自転車界のホープ・出宮順一は陸軍の銀輪部隊としてビルマに送られ、1945年6月戦死。～スポーツから平和の尊さを見つめる?…大学の先生が正論を言って番組が終わる??～

8月16日(日) 25:20～、30分、TBS

JNNドキュメンタリー ザ・フォーカス「非戦の軍人 堀悌吉の譲れない信念」

無抵抗で語り部になった男・堀を、親友の山本五十六の人生と交錯させて描く。△1889年8/6生まれ。12歳日清戦争『軍人になりたい!』。兵学校32期生で山本五十六と親友。入試で山本2番、堀3番。△1907年『筑波日記。軍人として戦わないために何が出来るか』。14年～16年フランス駐在、14年に第1次大戦『戦争は乱・凶・悪なり』、21年ワシントン軍縮会議、海軍大臣の随員『国防は軍人の占有にあらず』。△32年上海事変、堀は待避して戦備を整えて反撃に出る。戦闘準備を怠って逃亡と喧伝され、予備役に編入される。△真珠湾攻撃の4日前、堀は山本に会う。山本は今生の別れと、作戰案と2通の述志を堀に託す。『非戦のために何か出来なかったか』と、堀は悔限する。△大分県立先哲史料館・安田頭子。堀悌吉の日記、山本五十六から堀に宛てた28通の手紙などを所蔵。

語り：山根基世、向井政生、D・語り：佐古忠彦、P：藤井和史、～知らなかった! 秀作です。～

8月23日(日) 4:30～、30分、テレビ朝日

テレメンタリー2020「拡散～“ガラケー女”と呼ばれて」 D：梅澤茉莉子、P：須田光樹、大黒和典、制作協力：FKEX、制作著作：TV朝日、

△19年8月の、常磐道の“あおり運転・暴行事件”。暴行する男と一緒にいて、携帯電話で撮影する女性をネット上では“ガラケー女”と呼び非難が集中した。

だが、投稿・拡散された実名・顔写真は全く別人の女性だった。△突然、犯罪者扱いされ、ネットにさらされた山田ミカさん(仮名/30代)。生活は一変、外出もできない日々となる。△小沢一仁弁護士とともに、誹謗中傷した「匿名の加害者たち」を割り出し、法的責任を追及する。1年に及ぶ闘い。

△最初の投稿者は市議⇒市議辞職⇒提訴110万円。地裁判決32万円。提訴に1件1万9千円。△木村ハナさんの自殺。見ず知らずの人を攻撃する文化は哀れなり。

8月23日(日) 22:00～、50分+50分、NHKBS

BS1スペシャル「少年たちの連合艦隊 ～“幸運艦”風雪の戦争～」

太平洋戦争の期間を通じて海軍の作戦に従事した駆逐艦「雪風」は、多数の艦船が撃沈された戦争を生き延びた「幸運艦」だった。不沈艦の「武蔵」と「大和」にも随行し、その最後を見届けた。その「雪風」に少年兵として乗船して生還した、二人(野間光恵(92)、西崎信夫(93))を軸に、複数の元少年兵(いずれも90歳代)らのインタビューとイラストで構成した。

語り：諸岡勇太郎、イラスト：幸田広信、イラスト加工：石川舞、撮影：金沢裕司、D：大島隆之、P：伊藤純、制作統括：太田宏一、渡辺圭、制作：NEP、制作著作：NHK、～西崎さんのキャラが良い。～

8月23日(日) 24:55～、30分、日本テレビ

NNNドキュメント20・シリーズ戦後75年「民意再編 戦後75年 岩国の選択」 ナレ：湯浅真由美、D：大坪敬幸、P：佐々木聰、制作著作：山口放送、

極東最大級の基地・岩国、昼夜を問わない騒音、戦地とつながる基地。△2005年、米軍再編・基地の強化。06年住民投票・受け入れ反対、08年市長選、自民党市長受け入れ容認。18年滑走路沖合移設。20年市長4選、民意は「基地財源でさらなる振興策を求めている」。

8月29日(土) 10:00～、60分、BS-TBS

ドキュメントJ×長崎「ダム予定地に生まれて」

ナレ：塚本恵子、D：岩本彩、P：長征爾、制作著作：NBC長崎放送

長崎県・川棚川の下流にある小さな支流、石木川にダムを作る。建設計画は48年前。13世帯が県と対立して反対している。生まれたときからダムを抱えている住民たち。佐世保市の水道水確保を起源とする計画は、水の需要予測が過大では？△2010年、道路の付け替え工事に座り込みの日々。△5年ぶりに、知事との住民集會が持たれたものの。△総事業費538億円、佐世保市の負担353億円。△昭和の計画を、なぜ見直せないのだろうか？

8月30日(日) 4:30～、30分、テレビ朝日

テレメンタリー2020「島の宝の島 軍事基地化は誰のために」

鹿児島県西之表市馬毛島(まげしま)。無人島の馬毛島は日米安全保障協定で、米軍の軍事訓練の候補地となる。今は硫黄島で行われているが…。△馬毛島の地権者と土地売買は合意。民間業者が土地を買い占め、防衛省に売る。△だが軍事利用の反対も。自衛隊駐留の経済効果や交付金から賛成も。市長は軍事利用に反対。△馬毛島の歴史・元住民 ナレ：村川裕、撮影：太田喜久、上妻順子、廣岡〇、取材：山下拓也、D・編集：中禮毎、P：折田義樹、制作協力：放送技術者、KKKBオペレーション、制作著作：鹿児島放送。～作りが丁寧。～

9月5日(土) 10:00～、60分、BS-TBS

ドキュメントJ×新潟「芸術の価値 舞踏家 金森穰 16年の闘い」

「舞踏は芸術の母である。」金森穰(45)。「新潟市民芸術文化会館りゅーとびあ」を拠点に、日本で唯一の公共劇場専属舞踊団「Noism(プロと研究生・20人)を主宰。NO-ism(無主義)。△2018年10月、市長の交代で、存続か否かが争論課題となる。新潟市民79万人。補助金1億6千万⇒5千万。世界発信と地域貢献。△視覚障害者向けワークショップ。手の触る感覚がダンサーと同じ。感動を通して世界＝多言語の人たちと交流する。△約1年の取材を通して、文化芸術のあるべき姿を追う。△3月県内での放送。日本放送批評懇談会による「第57回ギャラクシー賞」テレビ部門選奨に入賞。語り：森山未来、撮影：三原大智、取材編集：坂井悠紀、構成：南加乃子、制作：吉井一善。製作著作：BSN新潟放送。

9月5日(土) 23:00～、60分、NHKEテレ

ETV特集「敏感くんたちの夏」

ひといちばい敏感で周囲の空気や感情に反応してしまい、生きづらさを抱えがちな「ハイリーセンシティブ」と言われる子どもたち。△児童精神科医『①共感性が高い。②深く受け止める。③刺激を受けやすい。④些細な変化にも気づく。』生まれつきの気質。刺激が過剰の自律神経を刺激しすぎる。△HSC(Highly Sensitive Child)の夏を見つめる。北海道十勝の元気くん・小6、毎日ひどく疲れて教室に入れない…。京都の純太くん・小3、辛さをためてしまう…。△佳奈さん・高3。△8月2日「当事者会」①自分の敏感さを理解する。②仲間と出会う。③安心して気持ちを吐き出す。…HSC自分自由研究、感情を色で表現したら。オノマトペで気持ちを伝える。ナレ：南沙良、西澤道子、制作統括：中根健、萩島昌平、梅原勇樹、制作著作：NHK大坂

9月9日(水) 20:00～、30分、NHKEテレ

ハートネットTV「あなたは認知症ではない ～診断から10年後の告知～」

竹内裕(70)、10年前。認知症の診断前は広島市内のシェアハウス・NPO法人の運営。59歳。商社の専務。発注変更のミス。社長が異変に気づく。自覚がないが、診断で前頭側頭型認知症。△離婚と解雇。引きこもり。△同窓会に誘われ「わしのままでいい」。当事者との交流・不安も・他人の世話も。△活動拠点「狸グループ」を作る。認知症になっても終わりじゃない。△発症から3年後・転院＝岩崎医師・7年間。『初期な人ほど、診断が難しい』進行するか否か、見守る。△2019年4月『進行性の認知症ではない』!!! △支えてくれた仲間と相談。専門家も活動を継続して欲しい。「今日もとにかく笑顔で、明日も笑顔で、その先は考えない…」 D：豊田義勝、P：河村雄次、制作：太平悦郎、

9月9日(水) 26:50～、55分、フジテレビ

FNSドキュメンタリー大賞ノミネート「じいちゃんの棚田はいま… ～百選の里の20年～」

愛媛県内子町の『泉谷の棚田』。1999年、百選に選ばれる。△上田満栄(76)、淳恵(75)。2018年11月、満栄が事故で5か月入院。甥っ子・土居清春(69)が助けてくれたが、世代交代はできない。△2020年5月、これからは自分たちで、「家族の棚田」を守る。田んぼ一枚一枚が生きた証だから…。ナレ：橋本利恵、D・撮影・編集・構成：友近昌二(EBCプロダクション)、P：井上裕治、制作：テレビ愛媛、

9月12日(土) 23:00～、60分、NHKEテレ

ETV特集「隠された毒ガス兵器」

～労作だが、情報が多い。～

毒ガス戦の実態を、新資料と当時の少年兵の証言などから迫る。△広島県大久野島、毒ガス工場600トン。陸軍造兵廠忠海兵器製造所。証言者：伊藤大二17歳/96

歳、皮膚が黒くなる。△1933年設立、陸軍習志野学校。毒ガス兵器の訓練。37年〜日中戦争は毒ガスの実験場。△42年河北省北垣村で、地下道に毒ガスを投げ込み、避難中の村民800人が犠牲。△関東軍化学部・516部隊チチハル。526部隊フラルキ。731部隊ハルピン。△名簿2000人が公開。迫間貞實21歳/98歳、526部隊で実戦の訓練。△1941年陸軍科学研究所⇒陸軍技術本部第6研究所（新宿・六研・毒ガス）⇒1943年〜44年、全国9カ所へ疎開。△富山県高岡市・稲川實17歳/92歳、見習い技術者で採用。本土決戦に備え、青酸カリの溶剤を作る・対戦車用。△1945年8/16、神奈川県湯河原町の鈴木英雄14歳/89歳、毒ガスのドラム缶を海に沈める。△敗戦後、毒ガスは日米両軍により海中などに投棄されたが、日本各地や中国東北部で遺棄された毒ガスの被害が続出している。今も続く。

語り：中條誠子、取材協力：吉見義明（中央大教授）、宇田川幸大、佐藤明夫、川鍋光弘、D：田原靖士、塩田純、東野真、制作：NED、製作著作：NHK、

9月20日（日）10:05〜、42分、NHKG

証言記録 東日本大震災 第95回 「“命の息吹”を伝えたい〜福島動物園の9年間〜」

福島県二本松市の動物園。1977年開園・東北サファリパーク。福島第一原発事故。60キロ。避難？ 誰が動物の世話をするか。社長・熊久保信重。園長・砂川昌平。アニマルトレーナー・植田恵梨（入社3年）△原発事故で避難場所を求める住民を宿泊施設で受け入れる。△一方で、風評被害で来園者は激減し経営難に。△遠方の客より地元のリピート客を増やしたい。どこよりも動物と触れ合える動物園になる。大胆な方針転換の背景に地域の人々からの支援。△SNSを活用して動物の動画を投稿。自販機でジュースを買う猿の動画が大ヒット。△今年4月コロナ感染拡大で一時期休園に。危機を救ったのはやはり地元のリピーター。

語り：石橋亜沙、取材：伊藤弥生、D：菊池英暁、D：藤田昭仁、制作統括：讃岐好伸、立家成浩、制作協力：ヴューポイント、制作：NEP、製作著作：NHK

9月26日（土）23:00〜、60分、NHKEテレ、

E TV特集「基地の街にロックは流れて〜嘉手納とコザの戦後史〜」

宮永英一（69）ロックバンド「紫」のドラマー。70年のコザ暴動と街の歴史を語る。実体を伴わない復帰、ベトナム戦争は過去のものじゃない。

語り：COCCO、撮影：角文夫、リサーチ：松山果包、ジュン・ミッチェル、D：奥秋聡、制作統括：小池幸太郎、東野真、制作著作：NHK沖縄

10月4日（日）25:00〜、55分、日本テレビ

NNNドキュメント20「自宅ときどき学校 前向き不登校」 ～令和2年度芸術祭参加作品。煮詰まらないまま、途中経過でエンドマークが来てしまった。～

松浦家は5年間、自宅で学んでいる。大坂から秋田へ移住。2016〜2019年、30都道府県で学ぶ。千尋・小1・社会を学びたい、駿・小4・数学を学びたい。父・長36・NPO法人大阪で。母・智子・通信機器の会社。△「好きなことを学びたいから学校に行かない」。自宅や旅をしながら学び、ときどき学校へ行く。前向きな不登校だ。△小1の時、学校があわず笑顔が消えた。今は自分で学びたい事を決め、自由に学ぶ。今年3月新型コロナにより学校が休校、日本中がパニックになったが、駿くんたちは大きな成長を遂げる。△時代が大きく変わる今。学ぶとは？ 生きるとは？ 家族の2年間を見つめた。

ナレ：鈴木奈々、構成：たむらようこ、D：黒瀬敦子、P：今村忠、小嶋清美、CP：有田康紀、制作協力：AX-ON、制作著作：日本テレビ。

10月6日（火）22:00〜、54分、テレビ東京

ガイアの夜明け「独占取材！ “大戸屋” 買収劇の真相 ～外食初の“敵対的買収” 独自取材6か月」

コロナ禍グループはなぜ大戸屋が欲しいのか？ コロナ禍ゆえ非アルコール系の外食が欲しい。△セントラルキッチンか手作りに拘るか？

捨てられない“定食魂”・・・池袋の大衆食堂が女性も入りやすい店へ。チェーン化と海外進出。△1.5倍の株価で買い付け。直近10年間の株主はみな儲かる。

資金100億円。TOBで利益を出した個人株主。△創業家と経営陣のお家騒動。創業家の妻と長男は相続税を借金で払う。で、20%の株を30億でコロナに売る。

△47%を買収し経営権を握る。高齢者施設への宅配サービス「ハッピーテーブル」、

案内人：松下奈緒、構成：山名宏和、D：渡邊貴文、ドキュメンタリー構成：岩井田洋広、D：太田瑞奈、坂本圭、大久保好章、阿部欣司、P：野田雄輔、

CP：清水昇、協力：日経新聞社、制作著作：TV東京 ～タイムリーな素材。日経バックと蓄積。破れて泣く社長……。ドラマにしたい！～

10月7日（水）26:25〜、55分、テレビ西日本

FNSドキュメンタリー大賞ノミネート作品「カカ・ムラド ～中村哲の信念～」

カカ・ムラド（中村のおじさん）の源流を辿る。△祖父の玉井金五郎は「ごんぞ」の小頭で正義感が強く、祖母のマンも「職業に貴賤は無い」「差別はするな」と倫理規範のしっかりした人。△小学生の頃、昆虫少年。西南学院中学で洗礼を受ける。1984年NGOの医者・ベシヤワール派遣。

△長女がーから勉強、ベシヤワール会で。 ナレ：光石研、D：藤野龍太、撮影：久保勇人、編集：利光英樹、P：古江寛樹、制作著作：テレビ西日本

10月10日（土）10:00〜、60分、BS-TBS

ドキュメントJ「よりそい 静寂と生きる 難聴医師」 ナレ：上白石萌音、D：原誠、P：大園康志、制作著作：CBCテレビ

市立・尾鷲総合病院で働く、今井竜二（32〜34）内科医師の日に密着する。△難聴は、飛行機のエンジン音が漸く音として感じられるレベル。

筑波大卒、研修医を経るも自信が無く、医学書を扱う出版社に勤める。△再び、やっぱり医師になりたいと、東大病院へ。入院患者担当となったが、巨大病院の壁に突き当たる。△医師不足の地方の病院を探して、尾鷲にたどり着く。△様々な工夫が必要。スタッフは手話を習う。口元が見えるマスクをアメリカから輸入。だが

大きすぎて日本人には合わない。マスク会社に生産を依頼、症例研究の話し合いが難しい。

10月10日(土) 23:00～、60分、NHKEテレ

E TV特集「ワケあり」リンゴ D:梅内康平、制作統括:諫山法子、東野真、～何を描きたいのだろう?!～

母・杉山真由美の家族の物語。△祖母山内きみ江はハンセン病の夫と結婚、夫は4年で死ぬ。夫は断種、産みの親を亡くし、施設を転々としていた18歳の真由美を養子に迎える。△やがて成人した真由美は、妻子を置いて失踪した兄の子を引き取り育てる。△いま、真由美の家族は祖母、夫、息子3人。次男は注意欠陥・多動性障害。△それぞれに事情を抱えた他人同士が肩を寄せ合い、築き上げてきた家族の物語。あなたの家族は、何色ですか?

10月11日(日) 4:30～、30分、テレビ朝日

テレメンタリー2020「全力!青春ダンス～部活とコロナの300日～」

三重県松阪市・三重高校ダンス部は全国屈指のダンス強豪校。△去年12月、ニューヨークの「アポロシアター」の舞台に立つという大きな夢を掲げた。

しかし準備が整った矢先に新型コロナウイルス禍が襲う。渡航は延期され、生徒たちの日常から部活動が消えた。△次に進むための「区切り」を失った生徒たち。それでも、めげることなく目標に向かって動き出す。未曾有の状況を果敢に乗り越えていく高校生たちの青春群像を描く。△ラスト。9/27、高校ストリートダンス選手権2020決勝大会特別賞を受賞。ナレ:濱田隼アナ、制作協力:ビックアップ、D:加藤一太、P:村瀬史憲、制作著作:メーテレ

10月11日(日) 10:00～、60分、BS-TBS

ドキュメントJ「ふたりだけの部屋」

※初回放送:3月25日(水) 19:00～、60分、SBC。SBCスペシャル「ふたりだけの部屋」

児童養護施設で育った姉妹の一年半。早大に通う妹・芽生愛(めいあ)19歳、長野の洋装店で働く姉・里生菜(りいな)21歳。△小学校に入る前、シングルマザーの育児放棄。二人だけの部屋の日々…電気も水道も止められ、食べ物も無い。△義父(母親の再婚相手)のDV、校長室に駆け込み～秘かに祖父の家に。義父に見つかり、母が争うも連れ戻されて、再び虐待。学校～病院～警察・義父は逮捕、二人は養護施設へ。△芽生愛は、高校2年の弁論大会でDVの日々をカムアウト。その後、妹は早大へ。姉は長野で働く。△二人は過去の記憶と折り合いを付けられずいた。母に会う。養護施設で働いていた二人の子供を心配していた母を知る。△ラスト。20年4月振り袖を着て写真を撮る。初めての記念写真だった。

ナレ:三島さやか、撮影:上木雅行、丸山清寿、D:中村育子、手塚孝典、統括:城取英紀、制作協力:コンテンツビジョン、制作著作:SBC(信越放送)

10月11日(日) 20:00～、50分、NHKBS

BS1スペシャル「東京リトルネロ」

路上に押し出されている歌舞伎町。緊急事態宣言、社会の片隅に生きる人々の歌声(リトルネロ)に耳を澄ませた記録。△瀬戸大作(反貧困ネットワーク)。

ネットカフェ難民、休めない風俗嬢、自由に移動できない仮放免の人たち、リサーチャー:桑原豊、取材:中川あゆみ、D・撮影編集:松井至、内山直樹、久保田徹、制作統括:浜野高宏、平野まゆ、吉田宏徳、NHKグローバルメディアサービス、制作著作:NHK、テムジン、

10月11日(日) 21:00～、55分、NHKG

NHKスペシャル「令和未来会議『新型コロナの不安 どう向き合う?』」

アナ:高瀬耕造、赤木野々花、出演:武井壮(タレント)、赤江珠緒(フリーアナ/4月に感染)、平田麻莉(フリーランス協会代表理事)、磯野真穂(医療人類学者)、高山義浩(沖縄県立中部病院医師、この頃、NHK御用達でした?)

<感染拡大防止と経済活動、バランスをどう考える> 両立のありようとは? 自粛のあり方は?

真山仁(作家):対立構図で議論をしない。秋山庄子(訪問看護師)の現状。

<新型コロナを、どこまで怖がらぬのか?> 社会のひずみ、分断が生まれている、フクシマと同様。

高橋泉(国際医療福祉大学教授)、岡部信彦(川崎市健康安全研究所長)、坂本史衣(聖路加国際病院感染管理マネージャー)。人間は交流して生きる社会的生き物…孤立をどう防ぐ? 生きがいを守る? ～医療崩壊の21年1月中旬からすれば、なんとも、議論がピン外れと思ってしまう～

～それ以前に、制作者のクレジットも無い(=テーマもない)、人を集めるだけの、無用な番組!～

10月14日(水) 22:30～、45分、NHKG

「挫折秘話 ブルーヒストリア」 D:秋山〇〇、P:城秀樹、制作統括:相部任宏、山内太郎、

歴史上の偉人たちのブルーな挫折秘話を紹介。夏目漱石・身長低く英語が通じない(留学時の屈辱)、野口英世・金があるとドンチャン騒ぎ(浪費癖を支えた会津の恩人たち)、リンカーン・ダサイ(恩妻の賢夫人が大統領に押し上げる)。出演:池田達也、マキシム・コレニスク、城戸健太、ゲスト:バカリズム、司会:渡邊佐和子、

10月14日(水) 26:40～、55分、テレビ熊本

FNSドキュメンタリー大賞ノミネート作品「牛島さんの牛舎暮らし」 ～淡々と編年体の作品。家は建っても、コロナ禍で値が下がっている…。～

2016年4月、熊本地震で被災した牛の肥育農家の復興の日々を追う。△熊本市の牛島誠二(76)は肉牛の繁殖農家。約50頭。子牛を生ませて、次の肥育農家に育てて渡す。△地震で自宅を失い、娘夫婦らは仮設住宅に入居。牛島さんは一人で、亡き妻と立ち上げた牛舎で寝泊まりを始める。牛舎の部屋を「特別仮設」と呼ぶ。自宅再建までの約4年を見つめた。

D&ナレ：尾谷いずみ、撮影：古江智宏、P：古閑康弘、制作著作：テレビ熊本、

10月17日(土) 23:00～、60分、NHKEテレ

ETV特集「調査ドキュメント ～外国人技能実習制度を追う～」

D：青山浩平、制作統括：真野修一、森下光康、矢吹寿彦、

国際貢献という理念と、あくまで労働力という実態。ゆえに翻弄される**実習生**たち。△今なお不正が絶えない**制度**はなぜ生まれ、拡大を続けるのか、その背景に迫る。

△20年前から10人を取材、2020年2月4人にインタビュー。コロナ禍で手取り4万円。1日15H働く。縫製を学ぶのではなく、タオルを作る。

△送出し機関と監理団体の癒着＝キックバック。貧困ビジネスの成立。不正行為で捕まっても微罪。理想と現実のズレ。

～『技能実習機構』への取材が無い！ 要は<移民>の問題なのに…。誤魔化すから、儲ける奴が出てくる！～

10月18日(日) 4:30～、30分、テレビ朝日

テレメンタリー2020「55歳からの生き直し～高知東生と薬物依存の8ヶ月～」

高知東生1964年生まれ。2016年大麻取締法違反で逮捕。藤岡ダルクで依存症の回復プログラムに取り組む。△2020年3月から執行猶予が明けるとの8ヶ月を密着

取材。△12ステップのプログラム。棚卸し(過去の出来事、恨みのリストetc…)父はヤクザ、母は愛人。祖母から母へ、育児放棄、中高一貫の全寮制、母の自殺)

ナレ&D：近藤剛、P：松本容子、CP：藤田貴久、制作協力：パオネットワーク、制作著作：ABCテレビ

10月19日(月) 24:00～、45分、NHKBS

BS世界のドキュメンタリー「中国 デジタル統治の内側で～潜入・新疆ウイグル自治区～」

新疆ウイグル自治区では、大勢のイスラム系少数民族ウイグル族が中国政府により収容施設で拘束されている。△中国政府は住民を拘束し、収容施設で厳しい規律

のもと徹底した思想教育を行っている、と国際社会から批判を浴びている。△数週間の現地潜入取材、拘束経験者や失踪者家族の証言から、実態を明らかにする。

2020年国際エミー賞最優秀時事番組。(イギリス 2019年)

10月24日(土) 21:00～、50分、NHKG

NHKスペシャル「世界は私たちが忘れた ～追いつめられるシリア難民～」

7/12日・BS1スペシャル『レバノンからのSOS ～コロナ禍追いつめられるシリア難民～』(100分)をベースに、8月4日のペイルート爆発がらみの報道と現地の

の様子を短く挟んだもの。出口は5月取材のマスクを作る女たち。D・撮影・編集：金本麻理子、制作：椿プロ、～短縮版+アルファ～

10月25日(日) 21:00～、50分、NHKG

NHKスペシャル「パンデミック・激動の世界(4)～問い直されるあなたの仕事～」

価値ある仕事とは何か。その価値にどう報いていけるのか。会社員と看護師、2つの現場から答えを探る。△テレワーク化で働き方、住まい方が変化。と同時に、

ジョブディスクリプション(業務内容の明確化～達成度による報酬)を導入する企業も。△一方、世界中でエッセンシャルワーカー(看護師の低賃金・長時間

労働)が、待遇改善を求めて声を上げている。△小熊英二(慶応大)「強い者が責任を取らなくなり、弱い者が…」、マイケルサンデル(ハーバード大)「効率性

の追求と公共の利益のバランスを見つけるには、人間の判断が大事、企業活動をどうコントロールするか、国民が議論すべきだ」キャスター：大越健介、

語り：磯野佑子、取材：岡谷宏基、山田功次郎、D：木村和徳、青木康祐、制作統括：横井秀信、寺園慎一、布施谷博人、制作著作：NHK

10月25日(日) 23:00～、50分、NHKBS

BS1スペシャル「ただ自由がほしい 香港デモ・若者たちの500日間」

ゴンジュー港猪・香港の豚(食べることにしか興味の無い)だった若者たちが弾丸に目覚めた。日本のみなさん、香港の現実を知ってくださいー現地カメラマンが

命がけで撮影した500日の記録。△自由にモノが言え、デモが社会を変えてきた香港社会。しかし、去年に始まった大規模デモ以来、当局の取り締まりは厳しさを

増す。△民主派の親中派か、市民の中で深まる分断。街中での激しい口論、ネットでの中傷。△ある若者は、遺書を手にデモの前線へ。警察に追われた若者は、

自由を求めて香港脱出を決意する。香港の光はどこに。「報道の自由を奪われても闘い続ける…」～悲しすぎる秀作です。～

語り・撮影：匿名Fさん(香港人カメラマン)、制作著作：NHK大阪

10月25日(日) 24:55～、30分、日本テレビ

NNNドキュメント 20「幸せチンドン」

岩国市周東町高森地区。平均年齢71歳の「高森チンドン隊」。人生、今が一番良い、第二の人生を謳歌する女性たち30人。△2009年結成。商工会女性部。

秋祭りに予算が無く、自分たちでチンドン屋をやる。いまでは、イベントや地域のお祭りで大人気です。夫を亡くして、寄り添う仲間たち。

ナレ：永田亮子、D：芳野孝平、P：佐々木聡、制作著作：山口放送 ～30分もたない…。なにか工夫を。～

11月2日（日）24:55～、30分、日本テレビ

NNNドキュメント 20「キネマに捧げた50年～別府ブルーバード劇場～」

大分県別府市、89歳の女性館長・岡村照（3代目）。年間250本、ドキュメンタリー作品など。△1949年、岡村さんの父が創業、父の後、夫が継いで10か月で急死し、照さんが継ぐ。次女、美紀。△1年前、映画ライター森田真帆さんが移住。ブルーバード映画祭。2019年11月「ひまわり」で満員に。2020年4月～休業。

11月3日（火）4日（水）20:00～、39分×2回、NHKEテレ

ハートネットTV「特集 京都ALS患者囑託殺人事件」 キャスター：中野享、語り：河野多紀、D：坂川裕野、P：海老沢真、制作統括：伊集院要、林優理。1968年生まれ。2011年発症。2018年4月25日、ハンドルネーム「tangoleo(タンゴレオ)」でツイッターをはじめ。

「…海外で安楽死を受けるため始動します!…」

第1回『視線でつづった586日』

ALS発症後の心の葛藤。「生きたい」と「死にたい」の狭間で揺れ動く。悪化する症状。△趣味を通じた交流。(2019年春、症状の悪化と安楽死を訴える。)△止められなかった囑託殺人。(5日前)「死ぬ権利を求めることは我が儘じゃないと思った。」△「安楽死が認められれば…救える魂がある。『どうしようもなくなれば楽になる』と思えば、…『恐怖』に毎日怯えて過ごす日々から解放されて、今日一日、今この瞬間を頑張ることに集中できる」

第2回『“安楽死”をめぐる』

ALS当事者が考える“生と死”。岡部宏生（14年前発症）「…本当にこんな死に方で良いのか…。死を認めることで、危険を背負うかも知れないことを知って欲しい。」△“死ぬ権利”はあるのか？ 鳥取大教授・安藤「人が死を選ぶのは、支援がない中で、追い詰められた結果だ…」。△フリーライター・児玉真美「海外で起こる“すべり坂”問題。…海外の安楽死・自殺補助の情報を知って、自分にも手が届くかも知れない…現実の死に結びつく」

△自己肯定感を引き出すサポートグループ。中島孝（国立病院機構新潟病院）。「同じ疾患の患者が集まって、患者同士がお互いを知り、学び、自己肯定感を引き出す。」病気を乗り越える能力を活性化する。 ～論理が流れる嫌いがある…伝わりにくい。情報が重く深い話だけに…～

11月8日（日）21:00～、50分、NHK

NHKスペシャル・「新型コロナ全論文解説 AIで迫るいま知りたいこと」 ～飽きはさせないが…外れ!という感じ。爆笑ナンデ出来ないの?～

出演：爆笑問題、アナ：桑子真帆、宮坂昌之、長谷川秀樹、高山義浩 △日本はこの冬急増するか? …急増する可能性もある。交差免疫で重症化も。

△収束はいつ? 決定打はいつ? ワクチン/抗体医薬品は高価…マスクを通じた微量感染のくり返して免疫を獲得できる。△長く続く全身症状、脳の霧=中央部で炎症、脈絡叢のバリアがこわれる…。思考力減退など。女性の8割が自己免疫疾患に。△究極のウイルス対策 加湿器、紫外線。

D：白川裕之、佐藤藤、兼子将敏、仁木島健一、P：阿久津哲雄、制作統括：浅井健博、生田寛、井上智広、制作協力：NED、制作著作：NHK

11月15日（日）22:00～、49分、NHKBS、

BS1スペシャル「コロナ時代の人情酒場 ～横浜・野毛の1か月～」 ～49分もたない! 焦点不明。～

600もの飲食店、対面接客の醍醐味をコロナが奪う。△先の見えない9月が終わる。10月10日少し戻っている。△都橋商店街ビル（露天商60軒を集めた）大人たちが集う。△調理師免許の無い店が増えた。コロナに関係なく、街は変化してきた。コロナが一層加速。

取材：田村拓朗、D：山田梓史、制作統括：石井香織、平野嘉弘、村松秀、制作：NEP、制作著作：NHK アマゾンラテルナ、

11月15日（日）4:30～、30分、テレビ朝日

テレメンタリー2020「消えた大学 幻の満州の夢」

～2019年11月、丘文奈（ナレ・ABCテレビ記者）が祖父の戦争体験を辿る。～

△祖父・邱来伝（キュウライデン）。1925年生まれ、44年満州建国大学の6期生になる。△同級生の村田治雄（95）を取材。『五族協和』の実践。開校から7年、45年8.23開校。△祖父は建国大～台湾～上海で日本語を教える。△最期のナレ「幻の中にも確かなものがあったと、祖父が教えてくれた気がする」

ナレ）堀江政生、丘文奈、D：丘文奈、P：藤田貴久、制作著作：ABCテレビ ～構成が違うのでは? 村田さんを主軸にしたら? ～

11月20日（土）23:00～、59分、NHKEテレ

ETV特集「親のとなりが自分の居場所～小堀先生と親子の日々～」

在宅での終末医療を担う小堀颯一郎医師（82）。小堀医師と患者親子の日々・2年余りの記録。高齢患者には仕事を持たず家にもり続ける中高年の子供がいる。△士官学校を出た父に憧れ、自衛隊に入隊するも馴染めず挫折、その後精神的に不安定となった50代の男性。小堀医師に導かれ末期ガンの父の看護を始めると、少しずつ変化が。増えていく会話、豊かになっていく表情。ヘルパー・看護師を派遣、子はそばにいるだけでいい。父は子に手を握られて死にたい…。

△看取りを担うことで子供が居場所を見つけていく。△埼玉県新座市・堀ノ内病院。訪問診療チームは医師6名と看護師2名で患者160人を支える。
△小堀医師は森嶋外の孫、東大病院で手術だけ。停年後在宅医に、人が違うから面白い。締め括りを迎えた患者に応えたい。△50代から料理人をやめ、母の介護に専念していた男性、病状が悪化して母は入院、母から離された子は自殺してしまう。真面目過ぎるのは危ない、ちゃらんぼらんが長続きする。
語り：柴田祐規子、撮影・D：下村幸子、制作統括：矢吹寿秀、太田宏一、制作：NEP、制作著作：NHK、

11月28日(土) 10:00～、60分、BS-TBS (⇒初回放送：8月6日(木) 10:35～、55分、RCCテレビ(中国放送))

ドキュメントJ×広島「おーい、聞こえますか? 被爆75年・ヒロシマから」

△原爆小頭症の被爆者・中井新一(74)。爆心地近くの胎内被爆。重い知的障害。3歳程度の知能。簡単な会話のみ。△いわれなき偏見と差別。妹・葉子さんは、2度の婚約で破談。横浜へ。2人は「世間の目」に苦しみ続けた。△胎内被爆者の寺尾文尚(74)。被爆70年に原爆小頭症被爆者と家族の会「きのこ会」への支援活動を始める。障害者を支え続けた経験を背景に、平和の大切さを訴えている。ナレ：斎藤とも子、D：平尾直政、P：城野裕台、制作著作：中国放送

11月28日23:00～、59分、NHKEテレ、

ETV特集「転生する三島由紀夫」

没後(割腹自殺)50年。世代を超えて語り継がれ“転生”し続ける三島の強烈な引力に迫る。ノーナレ。△第1部『舞台』、第2部『行動』、第3部『肉体』、第4部『輪廻転生』。三島原作の舞台に出演した東出昌大、橋本愛、中村蒼ら俳優たちと、三島主宰の「楯の会」会員、研究者など総勢14人。

朗読：渡辺徹、D：岩田真治、制作統括：梅原勇樹、制作著作：NHK

△三島由紀夫文学館の山中剛史。空襲下の1945年5月の散文詩『今何かある輪廻への愛を避けて』の一節に『輪廻の身にあまる誉れなかに/現象のように死ぬ蝶よ』とある。個人の存在、時代や社会も、輪廻転生をのがれられないのだ。

～お若い役者たちの朗読のへたさに嘖然!～ ～コロナ禍による<分断と閉塞>にピッタリのイベント・没後50年だ。死んでも時代と併走する?～

11月29日(日) 22:00～、60分、NHKBS

BS1スペシャル「真実への鉄拳～中国・伝統武術と闘う男～」 ～中国の統制はあらゆるものに及ぶ。そして、監視強化へ進む。～

総合格闘技家が「中国武術は実戦の役に立たない」と武術の達人を軒並み撃破。△すると、国家に活動を制限される。

語り：遠藤憲一、撮影：李波、取材：○可、D：李波、増田浩、制作統括：川口潤、鈴木真美、郭強、制作：NEP、制作著作：NHK、テムジン、

11月29日(日) 25:20～28:00、2H40分、TBS

JNNドキュメンタリー ザ・フォーカス スペシャル「記者たちの眼差し 戦後75年の開戦の日を前に」

「戦時戦後を人々はどう生きたか」20代～50代の記者が、それぞれ一人で紡ぐ16の物語。統括・構成：佐古忠彦、
～不確かなメモです。各8分程度。記者の研修作品ですが…～

・「今も東京に残る空襲の跡」 記者：大賀広之(TBS)

・「東京 上書きされた戦争の爪痕」 記者：東瀧記(TBS)

二瓶さん・語り部、死体の下敷きで助かる。亀戸駅。墨田区錦糸公園。仮埋葬の地。追悼施設の欠落。

・「兄を特攻に送り出した10歳の少年」 記者：??

弟(89)に話を聞く。兄は元特攻兵、徳之島不時着。2012年取材、14年死去。

・「戦は人を 北海道と沖縄」 記者：ナギーブ・モスタファ(HBC・沖縄出身)

大叔母は1945年6/23、日本兵も味方では無かった。沖縄では北海道出身者1万人が犠牲に。

・「被爆教員の願い」 記者：栗栖千尋(RCC)

尾形静子さんの手記。44歳で死亡。元同僚(92)が語る。17歳で被爆し3年後本川小で教師に。

・「被爆者の思いを受け継ぐ絵」 記者：渡部真一郎(NBC)

仙台に住む被爆者(81)、友人の骨を広島川の川に流す。高校生に絵を描いて貰う。

・「豊川空襲・最後の語り部」 記者：竹内悠(CBC)

1945年8/7 豊川海軍工廠に空襲。

・「被爆した父が遺した旋律」 記者：古川恵子(NBC長崎放送)

「あの子」木野普見雄：作曲、永井隆博(医師)作詞。山里小(1300人が犠牲)第2の校歌。

・「知事が命じた原爆疎開」 記者：三浦大地(BSN新潟放送)

1945年8/10、知事布告(県民の疎開)が明日出る…。

・「パンプキン爆弾の真実」 記者：谷川琢也(CBC)

愛知県春日井空襲。模擬原爆をつけた49発(日本全国から)が海を越えようと…。

・「九人の乙女 女性たちの戦争」記者：幾島奈央（HBC）

権太の真岡（まおか）町の電話交換手。1945年8/20、青酸カリで自殺。中間マエ、芝居にして公演。

・「満州開拓団と残留孤児」記者：道山幸司（MBC南日本放送）

鹿児島市の81歳、中国残留孤児、大連市。自分は誰なのか知らない。「それでも私は日本人だ」

・「中国残留邦人の居場所」記者：長和田浩（MBS）

尼崎市、日中障害者の交流～中国の風土になじんでいる人のための介護施設を作る。田山さん夫婦。

・「責任」記者：手塚孝典（SBC）

宮島満子1985年永住帰国、一人ぼっち。信州の兄は開拓村で引き受けられない。兄に頼らず帰国。

・「“敵”との対話～憎しみを越えて～」記者：萩原豊（TBS）

鶴亀彰（アメリカ在住）、16年前に父を探す旅。イ号166潜水艦・機関長マラッカ海峡に沈む。イギリスで沈めた艦長に会う。

父が沈めた潜水艦の兵士オランダ人に会う。真珠湾攻撃の被害兵士エディ、生涯の友。

・三島さやか（SBC）小口理仁（SBC）信越放送「内容不明…眠っていたか？」

12月5日（土）23:00～、60分、NHKEテレ

ETV特集「ひきこもり文学」

～秀作です。～すべては親との葛藤をかかえています。～

“ひきこもり”とは何だろうか。ひきこもる人たちの手記を集めた雑誌「ひきボス」から。本人の朗読・自撮り・ドキュメント。

△ひたすら自分と向き合い、考え抜き、現状をよくしたいとものがく。△石森森人・編集長。△さとう学（43）小学校の不登校から断続的に22年間。秀逸な文章。

「オレを見てくれ！」△ぼそと池井戸（58）チームVOSO代表、断続的に35年。社会に合わせないけど社会に迷惑かけない、危うい均衡を保って。（心に）溜まる言葉を日々、掻き出している（書き出している）。△ゆりな（27）完璧にしたい、すべてを知りたい、自分の言葉が間に合わない焦燥感。

△湊うさみ（38）トランスジェンダー。家族から脱出したいとひきこもり。家出。コロナでみながマスクだから、外出しても、見られていない感じが良い。

D：三輪祥子、P：久保暢之、制作統括：真野修一、矢吹寿秀、

12月6日（日）4:30～、30分、テレビ朝日

テレメンタリー2020「MINAMATA ～ユージン・スミスの遺志～」

△写真集『MINAMATA（ミナマタ）』。水俣病の惨禍を世界に伝えた写真家ユージン・スミスは水俣で過ごした3年間、患者たちとどう向き合い、何を感じたのか。△1971年、アイリーン美緒子スミスは「写真では心の中を撮れない」と、二人三脚で撮影をともにする。△アイリーンはユージンの遺志を継いで今も活動を続ける。40年余り前、女の子は15歳～16歳の思春期だった。そして今、坂本しのぶ（64）、田中実子（67）。「水俣は今が正念場です」と美緒子は言う。

△映画「MINAMATA」は、ジョニーデップ企画で、ユージンを演じる。ナレ：杉本肇、D：城戸悠里、P：津本勲、伊藤賢治、制作著作：TV朝日

12月6日（日）24:55～、30分、日本テレビ

NNNドキュメント20・シリーズ戦後75年「マルレ ～秘密特攻艇、出撃せよ！～」

「マルレ」とは船舶特攻隊のこと。正式には「海上挺進特攻隊」、陸軍のベニヤ板のボートの船尾に250キロ爆弾を積んで、必死の体当たり攻撃。

△証言者：田島直雄（92）、小島六雄（97）。1945年4月、志願という名の強制で特攻兵100人が集められ、江田島で訓練する。△8月6日、広島市に救出に向かう。被爆者の救護と遺体収容。自分の水筒に、口を付けて末期の水を飲ませてあげられない、一生の悔恨。△戦後、二つの秘密（特攻と被爆）を背負う。

△小島六雄の息子が代わりに富山市から広島/江田島を訪れる。ナレ：下野紘、取材構成：土井あゆみ、P堀田茂宏、制作著作：KNB（北日本放送、富山県）

12月6日（日）25:20～、30分、TBS

ドキュメンタリー・ザ・フォーカス「辺野古の四半世紀」 D：桃原永、P：比嘉俊次、制作著作：琉球放送

西川征夫（75）さん。おばあたちの反対を記録に残したい。1959年キャンプシュワブが出来た。運動は喜びとショックの繰り返し。

12月10日（木）22:00～、30分、NHKG、

クローズアップ現代+「ルポ・武漢 光と影 “パンデミック1年” “震源地は今”」

作家：方方（武漢在住）『文明度を測る基準は弱者に対して国がどういう態度をとるかです』。中国は、肉体的にコロナと政治を体験。

△作家：多和田葉子（ドイツ在住）『情報を知ってやろう!!!! 一人一人考えることをやめてはいけない。』

12月17日（木）、22:00～、30分、NHKG、

クローズアップ現代+「認知症の私が認知症の相談にのって見たら 見つけた生き甲斐」 ～明日は我が身、心しよう。～

認知症の当事者が認知症で悩む人の相談にのる。そこで見つけた「楽しむことは楽しむ」「人の役に立つ喜び」「認知症でもできることはできる」

△相談にやってきた男性は、その後、「認知症になってよかったことは、妻のやさしさにふれたこと、人の痛みがわかったこと」と日記に記した。

△脳科学者・恩蔵絢子（認知の母と暮らす）。能力とその人らしさは別です。認知症になっても出来ることは出来る。

12月19日（土）22:00～、50分、NHKBS

BS1スペシャル・シリーズコロナ危機「テレワークが変える“新しい経済”

△新型コロナウイルスによる経済へのダメージの一方で、“テレワーク”の広がりを機に「新しい経済」が芽吹く。△居酒屋チェーンの逆襲・ワタミ、焼肉へ。宅配事業へ。

△山口義行（立教大教授）退職し石垣島へ。田中雅美（経営コンサルタント）浜松で介護しつつ、テレワーク。

△①消費地の変化…地元・自宅に近いところ。②消費の単位…個人・家族。③自覚的消費…共感型消費（応援したい）。

△不動産25年周期説。再び郊外の戸建て。△アドレスホッパー。寅さんの憧れ。ホテル暮らし（1か月単位で借りて、好きな土地へ）、空き家暮らし（月額4万円各地の空き家100カ所）△通勤という膨大なエネルギーがどう生まれ変わるのか？ 新たな社会を築くエネルギーに転化できればOKだ…。

報告：吉岡利文（NED）、D：中島梓、益田健二郎、制作協力：日経映像、制作統括：小塚正記、本堂社司、制作：NEP、制作著作：NHK、

12月19日（土）23:00～、60分、NHKEテレ

ETV特集「沖縄の燃えた夜 ～コザ騒動60年後の告白～」 ～吉岡の個人的思い出作りになる一歩手前…か？～

カメラマン・吉岡攻が1970年12月20日以来のコザ再訪。あの日、現場にいた人々を訪ね歩く。△きっかけは、二つの交通事故処理。酔った米兵の車が沖縄人をはねた。MPの対応に群衆が集まり、イエローN0の車を倒して火を付けた。6Hで車82台が燃やされた。

△逮捕された与座順（24当時）はタクシーの運転手で、米兵に何回も乗り逃げされた鬱憤を晴らす。…60年にして初めて語る。逮捕された4人、名誉回復する。

D：吉岡攻、取材：竹村望、制作統括：東野真、塩田純、前川誠、制作：NED、制作著作：NHK、オルタスジャパン

12月20日（日）4:30～、30分、テレビ朝日

テレメンタリー2020「よみがえれ 神の鳥」

半世紀前、中央アルプスの雷鳥は絶滅した。が、2年前1羽が発見され、環境省は人の手による雷鳥の群れ復活作戦を試みる。△中村浩志（信州大学名誉教授）、その弟子、小林篤（環境省専門官）。△雌が無精卵を産み温める習性を利用し、有精卵（動物園の）と交換、ふ化に成功するが、卵はサルに食われてしまう。温暖化でサルが高山帯に現れたのだ。△結局、北アルプスの雷鳥をヘリで移送し放鳥する。

ナレ：草田敏彦、企画：近藤幸夫（朝日新聞長野総局山岳専門記者）、協力：中村浩志、国際鳥類研究所、信州大学山岳会、制作協力：トラストネットワーク、TSP、D：仁科賢人、倉島崇志、

日本テレビ・NNNドキュメント・シリーズCOVID-19

～コロナ禍でもがき苦しみながらも今を生きる日本人の群像を描く。3回シリーズ。制作：読売テレビ、高知放送、日本テレビ 共同制作。

12月20日（日）24:55～、30分「コロナ2020-2021 禍」

△京都第1赤十字病院救命救急医療センター長・高階謙一郎（60）：コロナを災害と捉える。3月の辛さを忘れないで欲しい。

△感染・再感染で後遺症に苦しむ患者。△授業もバイトもなくなり生活苦の大学生。ナレ：有働由美子、D：武藤将大

12月27日（日）24:55～、30分「コロナ2020-2021 抗」

△「ワクチン開発は国防」と説く、松浦善治（65・阪大教授）のワクチン開発を取材。

△九州プロレスのぼってん×ぶらぶら。コロナで活動自粛に追い込まれるが抗い続ける。

ナレ：伊藤英敏、福岡放送/D：伊崎健太郎、P：手嶋一雄、読売テレビ/D：武藤将大、P：堀川雅子、制作著作：FBS、y t v

1月3日（日）24:15～、30分「コロナ2020-2021 祈」

△音楽も伝統芸能もコロナ禍で窮地に。△福岡市の「九州交響楽団」は多くの公演が中止や延期となり、1億円以上の赤字。創立以来、最大の危機！

コンサートマスター山本直樹（チェロ奏者）と妻・真衣（バイオリン）、7/17・900人の定期演奏会。

△全国有数の神楽どころ広島県安芸高田市。祭りや観光施設での神楽上演が中止！安芸高田市美土里町「神楽門前湯治村」広森神楽団・金井勝（団長・35）維持費の収入源は公演料。存亡の危機。11月縮小して再開。△不要不急とされたものを奏で、演じてきた自分たちにできることは何か？

新たな年に向け、彼らは祈る。音楽で神楽で、病魔退散を。かながえのない日常が再び戻ることを。

ナレ：宮脇靖知（広島テレビ）、伊藤舞（福岡放送）、制作：広島テレビ、福岡放送、

12月26日（土）21:00～、50分、NHKG

NHKスペシャル「患者が“命を終えたい”と言ったとき」 語り：守森奈美、D：笹井清史、P：西村敏、制作統括：生田寛、高倉基也

「苦しむ姿を見せたくない」「延命して家族に負担をかけたくない」。がんの終末期・ALSなど神経難病の現場では患者の訴えに、医師たちは今どう向き合っているのか。命をめぐる葛藤の記録。△ALSの林優里など、神経難病の患者は「鎮静」（モルヒネなど）を願う患者が増えている。

△荻野美恵子医師（国際医療福祉大学）のケース：本当の覚悟は無い。鎮静無しで最期を迎えられると判断。延命を巡る選択のケース：人工呼吸器を付けるか否か、息子の結婚式に出たいと、延命に同意。 △訪問医師・シンジョウ医師は、終末期の患者への対応の評価は、その後の家族から貰う。
～ 明日は我が身。一応、夫婦ともども、尊厳死協会の会員証を持ち歩いて、子どもたちには延命するな！と言いつけてはおりますが…。～

12月27日（日）10:05～、48分、NHKG

「中村哲の声がきこえる」 ～蓄積がものを言う。佳作。～

～医師中村哲の活動の傍らにいた「ワーカー」と呼ばれる日本人の若者たち。挫折を経験した者、国際貢献を志した者…その数は100人。中村によって人生を変えられた男たちの話から見えてくるのは…？～ △蓮岡修（28、戦場ジャーナリスト）1年で600本の井戸を掘れ！⇒⇒僧侶。絵本の専門店を経営。「絵本」で功績を紹介。△目黒丞（すすむ）（29）アフガニスタン空爆。食糧を降らせる（買付けろ！）⇒⇒東京で会社員。△大越猛（大学院で国際法）会計と炊事。⇒⇒35才で、医者になり、訪問診療の専門医。「一隅を照らす」自分の出来ることに集中しなさい。コロナ禍看取りの訪問診療が増えている。

△橋本泰範（30）2003年5月～用水路建設。水門の責任者。「失敗を許す」⇒⇒3.11の大地震を知り、農家を支援しようと帰国。農業雑誌の出版団体。⇒⇒。△人生の垢を取って貰った。人にとって大切なものを心に留める。

語り：オダギリジョー、朗読：長谷川和彦、D：藤田誠、制作統括：東野真、上田未生、中村雅人、制作：NEP、制作著作：NHK、日本電波ニュース

12月27日（日）21:00～、50分、NHKG

NHKスペシャル「謎の感染拡大 新型コロナウイルスの起源を追う」

パンデミックの始まり・2019年12月31日、武漢市で肺炎患者。2020年1/14・WHO。△遺伝子情報の分析。中国10月中旬

△下水サンプルをPCR検査…イタリアでは12月のサンプルにウイルスが見つかる。その数週間前、12月中旬。フランスも12月中旬に感染。△金沢大学、下水沈殿土を集めてPCR検査で、ウイルスの広がりを検証する。※スタッフのクレジット無し。

12月27日（日）22:00～、50分/23:00～、50分・計100分、NHKBS

BS1スペシャル「アウシュビッツ 死者たちの告白」

△8/26（日）の地上波Nスベの続編。レンガに名を刻んで帰還したユダヤ人を追加で取材…娘がレンガの父の名に会いに行く。

△人は自らを生き延びるために如何に残酷になれるのか！ 他者の痛みをいかに無関心か、いかに人が傷ついたか！ △「ここにはすべてが記されている訳ではない。メモは埋められている筈だ」 語り：磯野佑子、リサーチャー：兼子潤郎、ウィンチ啓子、鈴木明美、コーディネーター：館愛子、アテネ・エルベ、藤塚明美、平木香奈子、D：吉岡美由紀、制作統括：花井利彦、制作著作：NHK

～☆秀作。今もアウシュビッツにつながる人々。追加取材（ご対面）が効いている。～

12月28日（月）21:00～、50分/22:00～、50分・計100分、NHKBS

BS1スペシャル「良心を束ねて河となす ～医師・中村哲73年の軌跡～」

△不治の病で幼くして死んだ息子へ、「父はやったよ、水が流れたぞ…」 △用水路が洪水で破壊される～いかに自然と折り合うか～筑後川の山田堰に先人の知恵。△人は愛するに足り、信ずるに足れり。

語り：広瀬修子、撮影：辻智彦、谷津賢二、D：櫻木まゆみ、取材：小畑夏美、制作統括：金資理卯、上田来生、川口潤、制作：NEP、制作著作：NHK、日本電波ニュース。～いよいよ、総集編。若かりし頃のエピソードを新たに取材。凄い人だね！～

12月30日（水）23:50～、75分、NHKG

世界同時ドキュメント「私たちの闘い ～自撮りでつづる危機の記録～」

「この危機を経験したことで、世界がより良くなることを願う。」 ～幾つかの寄せ集めで、新撮は少ない。～

D：座間味圭子、制作統括：春日真人、寺園真一、海外ネットワーク、人脈・コーディネーターの力量か？

1月1日（金）19:00～、50分+50分=100分、NHKBS

「COOL JAPAN ～発掘！かっこいいニッポン～」新春特集『世界が驚いた！ これぞニッポンのNEWS』

2020年、日本の泣き笑いが見えてくる。ベストワンは、「悪疫退散願ひ・全国一斉花火」出演：19カ国20人の外国人。MC：鴻上尚史、リサ・ステッグマイヤー、D：鈴木智博、太田壮、P：中川幸美、制作統括：猪股修一、深代卓郎、制作：NEP、制作協力：クリエイティブネクサス、制作著作：NHK、

1月1日（金）22:00～、74分、NHKG

「あたらしいテレビ2021」 ～2020年辛い一年があったから、良くなったと言われる2021年のテレビでありたい～

司会：近江由理江、ナレ：松本まりか、出演：TV東京・佐久間宣行、脚本家・野木亜紀子、クリエイティブディレクター・辻愛紗子、タレント/俳優・山之内すず(19)、音楽クリエイター・ヒヤダイン、構成：徳野有美、リサーチャー：大場明美、取材：北島清次、川喜田はんな、D：良鉄夫、P：吉川茜、制作統括：坂部謙二、甲斐洋威、制作：NEP、制作協力：ぷろぺら、制作著作：NHK

1月1日(金) 22:00～、50分+50分=100分、NHKBS

BS1スペシャル「欲望の資本主義2021 格差拡大 社会の深部に亀裂が走る時」

△コロナがもたらした亀裂：雇用が戻ってこない。富の集中は成長を止める(グレン・ワイル)。国家の役割を巡る問題(森田長太郎)。グローバル化疲れ(エマニュエル・ドッド)。△新たな階級社会の到来：非正規労働者の拡大、年金が受け取れず死ぬまで働く。再生産される富のピラミッド(橋本健二)。△市場というパンデミック：経済はパンデミックのように広がる。△自由の国の失敗?：トランプ・保護主義・米中対立。ヨーロッパの分裂。グローバル化の終焉。△そして誰もいなくなった：一部の人をおとしめて成長を続ける一幻想。コーディネーター：須山弘太郎、堀内慧峰、取材：真浩史、D：寺田昇平、大西隼、P：高橋才也、制作統括：藤田英世、丸山俊一、制作協力：テレビマンユニオン、制作：NEP、制作著作：NHK、

1月5日(火) 21:00～、

クローズアップ現代+「密着 コロナ重症病棟 パンデミック下の年末年始」

コロナ2年目をどう乗り越えるのか、現場から探る。△12/17～取材開始。聖マリアンヌ医科大学病院・救命救急センター(川崎)。センター長・藤谷医師。看護副師長・長屋さん。△必死に闘ったこの1年。相次ぐ看取り。コロナ下の家族の別れ。テレビ電話～防護服を着て看取りは? 後遺症に悩む人。△12/28 迫り来る医療崩壊。ICU17床。コロナ以外の患者も搬送で医師不足に。△12/31、崩壊寸前。小児科棟の一部をコロナ病棟に設置。△1/1、17床が満床。△スタジオで危機を訴える。△キャスター：武田真一、藤谷茂樹医師、語り：古谷修、撮影取材：松井大倫、平瀬梨保子、D：平田宗林、前田陽一、制作統括：鈴木伸元、渡辺久子、制作著作：NHK、

1月8日(金) 19:30～20:41、71分、NHKG

首都圏ネタドリ! 「首都圏に緊急事態宣言 私たちの生活は医療は?」 △1都3県の知事に問う。△感染者は減らせるのか? △企業のテレワークは? キャスター：松田利仁亜、高橋みなみ、浅野理香、ゲスト：くわばたりえ、館田一博(日本感染症学会)

1月16日(土) 23:00～、59分、NHKEテレ

ETV特集「円空～仏像に封印された謎～」 語り：山像かおり、D：平井敦、P：三浦弘之、制作統括：織田さやか、矢吹寿彦、制作著作：NHK名古屋、～円空はマザコンだった…?～ △仏像の中に納められていた鏡(母の形見)・紙片など、近年の新たな発見を元に、謎に満ちた円空の知られざる人生とその内面に迫る。△長谷川公茂(87) 円空研究家65年。△洪水で母を失う、母への弔い、十一面観音。41歳で行者修行(大峰山)

1月17日(日) 24:55～、30分、日本テレビ

NNNドキュメント21「阪神淡路大震災 死ぬまで生きてやろうじゃないか～神戸からの音返し～」

音楽の力で“阪神大震災の記憶”と“助け合いの心”を若い世代につなぎたい。△余命わずか松原裕(37)を追う。ライブハウス「太陽と虎」。バンド仲間の兄貴的存在。△2005年5月、全国の神戸支援の恩返しに、チャリティフェスティバル「カミングコウベ」開催。△2017年2月、腎臓がんで余命2年。5月ポートアイランドのロックフェスを主宰し、歌う。△離婚して、息子ふたりを男手で育てた。17歳・15歳。△19年4月、39歳で永眠。20年5月の「カミングコウベ」は中止となる。長男が大学に通いながら、ライブハウスを手伝っている…。△09年から10年にわたる取材。改めて震災への向き合い方を考えていく。ナレ：横須賀ゆきの、D：吉田陽、P：吉川秀和、CP：堀川雅子、制作著作：ytv

1月17日(日) 25:45～、30分、TBS

JNNドキュメンタリー ザ・フォーカス「心をひとつに ～伊香高校野球部の日々～」

滋賀県長浜市、県立伊香高校野球部。高校2年の山本密湖(先天性麻痺)だが、車椅子のマネージャー。 ナレ：西靖、D：吉川元基、P：奥田雅台、制作著作：MBS

1月23日(土) 23:00～、59分、NHKEテレ、

ETV特集「エリザベス この世界に愛を」 ～いつもよりシツコイと思ったら、テムジンだった!～

難民支援のため全国を走り回る・エリザベス(ナイジェリア人)の1年半を追う。△「愛しているよ」。入管施設に収容の外国人たちと呼びかける。各地の入管施設を訪れ、面会を重ね、収容者たちの切実な声に耳を傾け、心の支えになってきた。△先が見えない不安を訴える人、抗議のハンストを始める人、ついに命を落とす人も…。△エリザベスは父にFGH(性器切除)を命じられ、1992年日本へ逃れる。2度にわたり収容されている。今は仮放免で難民認定審査を受けている…。語り：副島淳、D：撮影・編集：高倉天地、P：山口智也、制作統括：東野真、柳田真顕、鐘川崇仁、制作：NEP、制作著作：NHK、テムジン